京城日報
THE KEIJO NIPPO
大正八年十月三日（金曜日） 第四千三百十三號 （一）
（年中無休刊）
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

十月二日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

我統治承認

濠洲聯邦議會下院に於ては南洋に於ける日本統治權を承認可決せり（倫敦電報）

ウ氏聯盟論點

大統領ウイルソン氏は乾燥に歸還する爲未だ七箇所の演說を殘し居れり氏は保留には反對せざれども留保の名に匿る修正には斷乎として反對せんとす惟ふに敵味方の論戰は領土保全を保障する第十條に集注せらるべく反對派は從來米國の軍隊が米國自身の承諾なくして外國戰爭に參加することに反對し居たりしがウイルソン氏の主張する所は國際聯盟は唯助言を爲すのみにて米國々會は件の助言を承引するも又は拒絕するも自由なりされど右の助言は聯盟會議にて全員一致さるべく米國も亦之が投票權を有すと云ふにあり然れども反對派は此の點に就き人民が一般に無理解なるに附け入りつゝあり然ればウイルソン氏は此の項を繰返し〳〵縱橫に辯明し著しき効果を得たりウイルソン氏の歸來と共に來週は上院に於ける論戰將に白熱點に達すべしと豫想せらる（倫敦電報）

過激派軍全滅

英陸軍省公報＝過激派軍は三日に亘るツアリチン附近の戰鬪中大敗北を爲し三箇聯隊降伏し他の二箇聯隊は全滅せり（倫敦電報）

自動車馬車罷業

英國鐵道總罷業に同情し自動車馬車も全部罷業せり（倫敦電報）

日伊通商條約繼續

現行日伊通商航海條約は兩國間の協定に依り十月一日以降當分繼續することゝなり其旨外務省より發表されたり（東京特電）

局部的妥協方針

新總理代理は南方側と局部的妥協を試むべし（北京電報）

支那艦阻止抗議

黑龍江上流に於て日本軍艦が支那軍艦の遡航するを阻止したりとの報に接し政府は日本に抗議すべしとの說あり（北京電報）

給料問題解決

地方よりの情報に據れば福建、湖南、綏遠城を始め各地軍隊は給料不渡の爲め不穩なりしが商務總會其他の盡力に因り應急金を準備せる爲め漸く鎭靜せり（北京電報）

桝本氏代表承諾

桝本卯平氏は一日午後五時十五分山本農相に會見し勞働代表たることを承諾の旨を申出たり（下關特電）

資本家代表顧問決定

資本家代表武藤山治氏の顧問は武藤氏の依賴に依り藤山東京商業會議所會頭の手にて選任中なりしが一日左の通り決定し近く正式に任命の筈

▲鐘紡協會々長工學博士五代龍作▲大阪汽車會社專務工學博士長谷川正五▲東京電燈會社專務技師長工學博士中原岩三郎▲神戶商業會議所會頭円中新吉▲蠶絲業會長工藤善助 笠井重次

商笠井氏は書記長の務を行ふ（東京特電）

上院各派聯合警告決議
物價調節問題

貴族院各派交涉會は一日午前十時より研究會々開き各派交涉委員出席物價調節問題に關して政府に警告すべきや否やを議題とし腹藏無く意見交換の結果警告すべしとの決議を爲したるも警告の內容に就ては各派總會を開きて決定したる上更に各派交涉會を開き各派の提案を審議したる後確定することゝし正午散會せり（東京特電）

紐育株況

ルーター紐育九月二十七日發＝近一週間の株式市場の特色と云ふべきは罷業成行の樂觀說の盛んなる買戾し及び投機筋の聯合買ひにして石油、黃鐵の特種株の中にはレコード値を出せしもの少からず米鋼普通株は買屋の買ひに拘らず鋼鐵罷業も遠からず落着すべしとの氣構にて引締しも其後形勢觀望の氣味にて買方手控へたり（東京電報）

三井男薨去

三井八郎次郎男肺炎にて三十日午後九時半終に薨去せり享年七十一（東京特電）

東京金融繁忙

前週末に於ける東京の金融は預金十六億五千六百萬圓にして前々週末に比し三千八百萬圓の增加を示し又貸出は十五億五千六十萬圓となり二千七百八十萬圓を增加金銀有高は九千八百七十一萬圓にて百二十萬圓の增加なり預金の增加は新設會社の株拂込み一因なるべく貸出の增加せらるは月末資金繁忙のためならん（東京電報）

尾藤中將檢閱

滿洲獨立守備隊司令官尾藤中將は副官を隨へ二日午前六時廿分奉天列車にて安東に來著し安東守備隊に就き檢閱を行ひたり（安東電報）

辭令

本日左記辭令ありたり

任總督府警視 愛知縣警視 今野專藏（東京特電）

石炭缺乏と我海運界前途

◎世界的石炭の不足は英國の出炭減少を動機に愈々大缺乏を告げ食料品供給に次ぐ一大經濟問題を惹起せり就中石炭價暴騰に苦しめる本邦海運界は燃料炭の供給難を豫想するに至りしが本邦炭價の暴騰が未だ英米兩國の比に非ずして頗る遲々たるは現に坡西「に於て一噸六磅の高價なるに拘らず供給不足の傾向あり、畢竟同地に於ける供給が本國よりの輸送なるため屢々同盟罷業の影響を受け供給意の如くならずして歐航唯一の燃料供給屢々危險に脅かされつゝあるに因れり

◎平和克復後に於ける英米兩國が世界に於ける海運の覇權を掌握せんと爭ふの結果著々施設を怠らずして最近英國が坡西土に一大貯炭所を設けて東洋方面に航行する船舶の燃料炭供給に充當せるに對抗すべく米國はパナマ運河口に從前より米國海運局の給料所あるを利用し其一部を割いて航海商船に供給すべく政府に向つて要求せり

◎今後の海運界に活躍せんと欲せば巨船を建造し充分の配船をなすと共に船舶燃料炭の供給を完全にし其價格の低廉を期するにあり等しく英國の蘇士運河を經由して東洋方面に航海する場合と米國が紐育よりパナマ運河を經て東洋に廻航する場合に於ける燃料炭消費能力の計算に依れば假に四千六百七十噸の鋼船にて十節の速力を以て紐育より蘇士經由哥倫坡に航行する場合に石炭二萬八千六十八噸を消費するに對し同じくパナマ經由桑港より我が門司港に達するには石炭一萬八千二百二十二噸にて足り實に九千八百四十六噸の節約をなし得るの事實を確めたり

◎本邦海運界が英米兩國の如く中米兩國が寓一艘船舶給炭所を有せざるを以て海運上に壓迫を加ふることありとせんか非常なる窮境に陷り殆んど對抗力を失ふべし、唯だ僅に太平洋乃至印度洋の一角に活動を制限せらる。是れ石炭の世界的不足より生ずる我海運界の發達を阻止するの一大缺點と云ふべし

◎本邦海運界が英米兩國より壓迫を受くるの事實は今後益々著しく現はるべし此の如くにして石炭供給の途を失ひ地中海以西若くはパナマ經由の大西洋進出の不可能に陷るの日には我國民が戰後の成金國として自負せる五大强國の一員に列したりとて有頂天になり英米列國との協調を保ち得べきや卑屈に流れず戰後の經營は國家的勞資協調し心を一にして國力の充實を計るの他に良策なし（大阪より）

旱害救濟の對策（一）
總督府殖產局長 西村保吉氏談

本年の旱害區域は京畿、忠淸南北、慶南、黃海、平北、江原、咸南の各道に涉つて居る。各其の地方の話を聞くと數十年此の方珍らしい旱害だといふことであるが實際に就て調べて見ると素より旱害の程度は

大小厚薄 のあるは無論であるが地方に依つては收穫皆無の所もあり、或は皆無に近いやうな所も隨分ある。隨つて之が爲に困難を感ずる地方の農民も甚だ寡くなささうに思はれる是等罹災者に對しては總督及政務總監に於ても深く同情を表せられ夙には殖產局長を黃海道以北に派遣して實地を視察せしめ次いで旱害救濟委員會を設置し民間の內鮮有力者をも加へて之が委員とし成るべく各方面の意見を集めて計畫上遺算なからんことを期せられつゝある次第であるが

該委員會 は二十九日第一回委員會を開いて愈々大體の方針を決定した、其の決定の概要は斯うである、先づ大體に於て政府の方針として決定すべき事柄は大別して之を二つとすることが出來る其の第一は●食糧の不足を如何にして適當に配給するか●といふ食糧の配給問題と第二は●災害の爲困難をして居る各個人に對して如何なる救濟手段を執るか●といふ救濟計畫である第一の食糧配給問題に就ては事甚だ複雜であつて今一々其方法手段の細目に亘る事までを決定することは至難の業であるけれども政府は臨機相當の對策を樹て適當なる手段を執つて成るべく食糧の配給を潤澤ならしめ漸次に食糧の不足なからしむるやう全力を盡す考へであつて現に

緊急必要 なる手段は今既に實行に著手しつゝある次第である、第二の救濟手段に就ては內地などでも斯の如き場合に於て色々各種の救濟方法を講じて居る實例もあるが、此の間に處して其地方實際の狀況や又多年の習慣等を參酌して各地方の實際に適する適當の方法を執らねばならぬことは申す迄も無い。隨つて朝鮮の旱害に對し直ちに內地各府縣の實例を其の儘朝鮮に應用するといふ譯には行かない

實業家招待會
總督官邸に於て

齋藤總督水野政務總監の連名にて招待されたる全鮮各要地實業家は二日入城同日午後六時三十分より總督官邸に參會したるが全鮮招待者三十三名中差支の爲め實際出席せるは京城の美濃部、松本、有賀、久保、松崎、釘本、古城、中村、山口、賀田、木本、藤井、天日、影山、竹村、足立の諸氏仁川の稻田、釜山の大池、香椎、迫間、元山の稻谷、鎭南浦の馬場、西崎、新義州の多田の諸氏にて主人側には各局長列席したり

秋期釋奠執行

秋期釋奠は二日午前九時半より副提學朴齊斌男主宰の下に經學院に於て執行したるが柴田學務局長總督代理として參拜總督府よりは弓削宗敎課長小田編輯課長等列席せり

畜產技術官
會同第一日

畜產技術官會同第一日は十月二日午前九時半より總督府第二會議室に於て開會西村殖產局長の訓示あり約三十分に亘り畜產行政の方針に就き說明する所ありて會議に移り牛田農務課長代理紙野技師の下に管內畜產狀況を聽取し午後も繼續したり尙會議は左記日程に依り來る八日迄繼續せらるべし

▲三日 管內畜產狀況聽取 ▲四日 午前同上、午後指示講演 ▲五日 龍山陸軍倉庫見學午前獸醫學會講演（午後） ▲六日 打合 ▲七日 洗浦牧羊支場見學及綿羊獎勵打合 ▲八日 同上解散（午後）

新甫大下鞘

仁川期米の十二月限新甫は軟派の弱觀賣りに硬派の氣勢挫けて大下鞘の四十一圓三十錢と寄付後稍々內地も安移りにて百零五丁しも安値二十一錢高値六十一錢止め二十九錢と軟勢裡に引け終れり

第一回米作豫想高
一千二百六十萬五千餘石

本年の水稻作は苗代期より挿秧期に亘り降雨適順なりしを以て苗の生育良好に行はれ挿秧も順調に進捗するを得たりしが七月中旬より八月上旬に亘り降雨少く中部以北の地方には

稀有の旱魃 に至り就中京畿道、忠淸南道、黃海道、平安南道及平安北道の五道被害最も甚だしく收穫減識を免れざるに至れり然れども南鮮地方の作柄良好なるを以て朝鮮全體としては減收比較的輕易なるを得る見込なり今秋分日（九月二十四日）の作況に徵するに其收穫豫想高一千二百六十萬五千八百八十八石にして其全體に就て前年の實收高に比すれば二百四十七萬四千五百六十六石即ち一割六步四厘の減收を示せり然れども右は稀有の豐作たる大正七年に對比したるものなるが故に若し之を大正六年以前に對比するときは著しき減收にあらず即ち大正六年に比すれば約五步大正五年に比すれば約八步に過ぎず之を大正四年に比すれば

却て約二步 の增收に當るを見るべし左に水稻收穫高の比較を表示すれば

年次	收穫高
大正元年	八、八九三、二二八石
同二年	一〇、〇〇一、五八七
同三年	一二、〇五七、四三四
同四年	一二、二七九、五三一
同五年	一二、四三〇、二八四
同六年	一二、一一二、六三〇
同七年第二回豫想	一三、六七一、二六一
同七年收穫概數	一五、〇八〇、四五四
同八年第一回豫想	一二、六〇五、八八八

備考 上記大正元年以前の收穫高は朝鮮慣用の地積單位たる斗落日耕に依り作付面積を調査し之を反別に換算し以て收穫高を算出したるものにして大正七年第二回豫想以後の收穫高は土地調査令に依り實測したる耕地面積を基礎とする作付反別を調査し之を算出したるものにして大正七年第二回豫想以前の收穫高は之に比し約一割を加ふるときは大正七年實收以後の收穫高と其の基礎略相同じきものとす

本年の收穫豫想高を各道別に前年の實收高に比較すれば左の如し

道別	八年豫想高	七年實收高	比較增減（△）
京畿	一、〇六五、三六五石	一、七九二、五二四石	△七二七、一五九石
忠北	五六六、七六五	六八二、五九四	△一一五、八二九
忠南	一、一八五、九〇六	一、七三五、三〇三	△五四九、三九七
全北	一、〇八九、一三四	一、五〇五、〇八九	△一四八、六九六
全南	二、〇八九、五九九	二、〇〇三、〇〇五	八六、一二九
慶北	二、三二七、五九九	二、三三一、七九六	△四、一九七
慶南	一、九七四、五四六	一、八六七、一六二	一〇七、三八四
黃海	五九一、七二一	一、〇九八、一一九	△五〇六、三九八
平南	二三八、四〇一	五八九、八一一	△三四八、三七一
平北	二八七、七五九	五四三、二四七	△[illegible]
江原	六三六、八五一	六〇二、六三三	[illegible]
咸南	三一二、四四六	三七二、五九六	△[illegible]
咸北	四二、九六三	三九、八七五	[illegible]
總計	一二、六〇五、八八八	一五、〇八〇、四五四	△二、四七四、五六六

七年實收高は目下調査取調中なれば概數を揭げたり

全羅南道の開發
亥角全南新知事の談

鳥取縣內務部長より全羅南道知事に榮轉したる亥角仲藏氏は二日朝來城巴城館に入つたが例の如く往訪の記者に語る

一昨年の十月警務總監部より鳥取縣に轉じ恰度滿二年目に又歸つた譯は內地へ地方行政の講習に行つてゐた樣のものです朝鮮に來ないかと云ふ交涉を受けた時の私の心持は知らぬ內地の他府縣に行けと云はれるより懷しい愉快な氣がしたのでした

朝鮮も事情 は餘程變化してゐるらしい其の邊を十分に理解し研究してから地方官として大過なきを期せねばならぬと思ふ數年前までの朝鮮の行政は一本調子で行けてゐたと云つて大した誤りはあるまいが然し今後は時勢の推移民情の變化より見て餘程趣を更へてかゝらねばならぬ全羅南道は警務官時代有名な荷衣島問題や宮三面事件に私も多年苦心して關さは知らぬ道ではなく且矢島第一高武第二兩部長高橋事務官は以前より知つてゐるし警察の方も舊京畿道の者少からざるため萬事好都合と思ふ殊に聞く所によれば朝鮮の大部分が旱魃に惱まされてゐるに拘らず全南は米作も棉作も

稀有の好況 だそうで農作豐凶の民心に及ぼす影響の甚大な點より見るも大いに喜んでゐる次第である道としての施策方面は依然既定の方針たる米と棉並に多島海の水產に主力を注がねばなるまい交通方面は馬山釜山方面と光州方面を連絡すべき鐵道の急設に盡力を要する、全南が地理上內地に近接してゐるに拘らず事實は遠く比較的に內地の事情の知られてゐないのは湖南線が大田より分岐して木浦に至り更に內地方面に歸るには大田に引返すの不便あるためで云つてよい全南と釜山方面の

直通連絡 を生じたならば內地の旅客は往路を京釜線に據るも復路は大抵湖南線經由の事となるであらうから自然全南の開發に効も多かるべく此點に於て五州輕鐵の急設を熱望する譯である更に木浦と內地の航路も改善の餘地は多いであらう何しろ全南は予の前任地たる鳥取縣に比すれば人口は約四倍の百八十餘萬面積も四倍の九百方里の廣さを有し一方鳥取より稠密になつてゐるから勢ひ事務もその處理事務は餘程忙しいと見ねばならぬ

忠南輕鐵許可
經營線路白哩

群山有力者坂上貞信氏外十三名の發起に係る忠南輕便鐵道株式會社設立の件は九月卅日附を以て許可の指令ありしが同會社線路は群山對岸に起り舒川、大川、洪城、禮山、溫陽を經て京釜線大安驛に於て官線に接し更に安城に到る約九十八哩七分の間に敷設し一般運輸の業務を經營するものにして該鐵道完成の曉は忠淸南道の西南部及び京畿道南部に隣接せる一帶の地方の開發に資する所甚大なるものあらんと

警察署長異動（十月二日附）

補龍山警察署長 道警視 今野專藏
補昌德宮警察署長 同 矢野助藏
補大田警察署長 同 長谷川豐治
補群山警察署長 同 渡邊宇太郎
補鎭海警察署長 同 齋藤安二
補大邱警察署長 同 福岡幾太郎
補平壤警察署長 同 齋藤重雄
補鎭南浦警察署長 同 佐土原岩吉
補羅南警察署長 同 武藤吉五郎
同 北村八州仙
平安南道在勤を命す 中田傳平
全羅南道在勤を命す 國宗鹿太郎
京畿道在勤を命す 尹秉禧
同 吳錫裕
全羅南道在勤を命す 李鍾國
咸鏡北道在勤を命す 安慶善
慶尙南道在勤を命す 北村
同 松元亮三
同 鈴木兵作
敍高等官七等

亥角知事動靜

亥角全南知事は二日來城總督府に出頭せしが三日若くは四日朝鮮を辭すべし尙ほ宮木前知事との間に於ける事務引繼ぎは宮木氏三日光州着の豫定なれば大田若くは京城に於て行ふべしと

財界閑話

財務局の新高等官に林、姉妹が二人あり然も名前もあらかた讀み振り方も同じくしてゐるので往々間違ひを生ずるらしい▲乃ち司計課長の林及樹君と關稅課長の林繁藏君である、關稅課長が茂樹君で司計課長が繁藏君だなどと誤信してゐる人もあり議論を生じて職員諸に審判を求むる事も珍らしくない▲兩課長共何れも六等官又最近まで課長代理を勤め更に道同の大異動により略ぼ同時に課長職に就いた所まで共通してゐるのも面白い▲或る人が兩君の人物論をもち出し何れが偉いかと云ふ事を某高等官に聞くとその人の曰く『それは司計課長が偉からうなぜならば茂樹君は居常繁藏（名册）を受けてゐるからである』と洒落てゐた▲葉煙草課長の博識は局內でも有名なものださうな專賣局時代高等官食堂で鈴木前長官の長廣舌の向ふを張つて長官以上に風呂敷を擴げてゐたのは君ばかり▲その他の連中は拜默々として長官の說を聽いてゐたと云ふ

辭令（十月一日附）

陸軍憲兵大尉 長谷川豐治
同 荻原吉五郎
同 矢野助藏
同 齋藤安二
任總督府道警視（六等） 總督府屬 中田傳平
同 同 北村八州仙
同 道警部 上原吉熊
同 同 下村充實
任總督府道警視（七等） 總督府屬 尹秉禧
同 道警部 李鍾國
同 同 吳錫裕
任總督府道警視（八等） 靜岡縣郡書記 國宗鹿太郎
任總督府道警視（五等）

人事消息

▲望月瀧三氏（釜山獸疫血清製造所長）一日入城朝鮮ホテルへ
▲多田榮吉氏（新義州木材會社々長）二日朝入城不知火へ
▲片山繁雄氏（鮮銀理事）三十日夜出發東上せり
▲賀田直治氏（實業家）三日夜東上の豫定
▲本木辯護士 出張中の處二日歸城
▲池田賢太郎氏（勅任技師）東京經理部附に轉じ六日夜七時五十分發家族同伴赴任

其の日その日

◇吾人は巴里公會を以て屢々維也納會議の二の舞ならざらん事を言へり。大戰收まりて未だ滿一箇年ならざるに、所處に騷亂の續發を見んとは國際聯盟ぞ、又何の講和條約ぞや。

◇見よ、巴爾幹問題の如き、將たチエツク、スロバツクと伊太利との抗爭の如き、英佛米の戰志なき結果として、茲に何等の壓力なく、獨に或は戰爭の避く可らざる成行きを現じつゝあるに非ずや。

◇匈國首都を占領したる羅馬尼軍は、英佛米よりの撤退を要求せられたるも、未だ全く撤退するに至らず。若し撤退するとするも、ブダペストの共產主義者は、羅馬尼兵の去るを俟つて、忽ち蹶起せんとすと云ふ形勢なれば、遂に何等の利害紛擾は徹底し死るべからず。

◇五萬の精兵を擁して、レストニアに踏み留り、虎視眈々たる獨將フオン、デル、ゴルツ將軍は如何。英米佛より頻りに撤退を要求せらるも、彼は馬耳東風の態を持して、窃に該國を窺ひつゝあり。

◇凡そ此等の形勢は、少くも巴爾幹を中心として、更に戰亂を發生せしむるものにあらずして何ぞや。然り而して此際に於て、米國上院が動もすれば講和條約を批准せず、國際聯盟を無効たらしめ、太平洋上に於て、正に橫行を專らにせんとするの觀ある、最も奇怪なりと謂はざるべからず。世界眞の平和は何時に於て出現すべき、今日世界の大勢を觀る者、宜しく深く茲に省慮を要すべき也。

◇故ローズヴエルト君の、日露講和談判に關する私信中に、日本人の信用すべく、露國使節の不信極まるを述べ、斯の如き人々に依つて支配さるゝ露國の前途は危し、と書せるあり。正直より强き者はなかるべく、信用より尊き資はなし。權謀術數を外交と心得居る者は遂に敗る、ローズヴエルト君の逝きし後の米國は如何、更に此の言を以て支那人に反省を促さんとす。

◇寬城子事件に對し、奉天の張作霖督軍は、意外にも曲は日本軍隊にありと强唱し、英米兩國人の調査を引證す。茲にも亦バタ臭き遠慮無きに非ざる也。

土工用器具及材料
雨覆天幕製作販賣
近江帆布會社製品
朝鮮一手特約店
同免許船燈製作販賣所
旗印石油組合販賣所
京城本町二丁目 金村谷本店 電話長五六番 振替京城五九[illegible]
支店 仁川府支那町 村谷石炭部 電話八一九 振替京城五[illegible]
支店 平安北道義州城內 義州印刷所 電話長二二 振替京城九[illegible]

京城日報社編纂
最新書式大全
菊版クロース製美本九百頁◆定價金貳圓郵稅二十七錢
本書は最新の朝鮮書式大全にして各種關係法規に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、產業、特許、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各般の一々關係法規を摘錄し一切の書式を網羅し餘さず各階級を通じて必携の良書なり
發行所 京城太平通 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋 巖松堂 日韓書房

本炭の半額であり頗る經濟な
卵形無煙煉炭
用途火鉢、中炊事、焜爐用定價一箱（凡四百個入）金參圓參拾錢
石炭代用として他に比類なき頗る經濟な
ピッチ入卵形無煙煉炭
燃燒時間拾時間一定の高熱を保つ
朝鮮無煙炭鑛株式會社京城特約販賣所
京城太平通二丁目 電話七二七番
西崎商會
南大門支店倉庫用 電話一四七〇 電話二二七番

捕雀用極上等網新製
カスミ網
高サ六尺三間 二棚 [illegible]
高サ六尺三間 二棚 [illegible]
前金に限り送料負擔 代金引換送料貮拾貮錢
朝鮮京城永樂町 吉備商會網部 電話一三一四番 振替京城四三八番
捕雀の時季は今ですカスミ網は小供でも張れます一張で三十羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

移轉廣告
弊所儀今般業務發展を計り左記に新築移轉仕候間倍舊御愛顧の程願上候
京城府西界洞三十二番地
京城鐵工所（電話一〇五二番）

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話長一〇二三 振替口座四三九[illegible]
樽賣御斷

皮より强い理想的の
專賣 柳織トランク
◉其他旅行用具一切
◉魔法瓶及中瓶取替
京城本町電話貳五四番
高木旅行用具店

國境横斷旅行 (四)

鐘城から慶山鎭へ

筏夫が巻き込まれる豆滿江地獄穴の渦！ 珍しや松茸汁の御馳走 同じ泊るなら寡婦さん宿に行け 馬賊と間違へられて憲兵隊へ

會山にて 特派員 伊藤韓堂

松茸汁に舌鼓

夜中の大雨を夢にも知らず、起き出で、聽いて吃驚した。毎年五頭づゝの豹を捕殺すと云ふ附近の山から取つて來た初物の松茸汁に舌鼓を打ち秋雨のそぼ降る中を下社地にと向つた。豆滿江第一の難處といはれて居る地獄穴は約一里の上手である。千仭の絶壁、激流が遮り、流れは渦をなして斜に外れ瀧の如くに流れ去つて居る。筏が此處に差掛る時は豫め二三時間憩うて氣力を養ひ渦に巻き込まれない樣に操り下るのである。一度渦中に投ずると、出ることは容易でなく村中の者が總出になつて綱で筏を引出すのであるが昨年も

筏夫二三名が

果敢なき最後を遂げた。概して内地人の筏夫は鮮人より上手に操縱するが夫でも昨年は筏と共に巻き込まれて死んだ者がある。地獄穴から半丁上手に當つて灘の如く逆しる冷たい激流が流れて居る。此の夏久しい間雨降らず本流の水が湯のやうに温つた時魚類が此激流の合水點に集まり、白い腹を冷すので流が一面に白くなつた何時もの魚に渇へて居る村の者は地引網を急製して五日間に亘つて

鱒や鯱を數十

萬尾漁獲して今でも其の鹽漬を食つて居るさうだ。十一時頃から雨は激しう降つて來て人も馬もビショ濡になつた。對岸の山々は何時の間にか霧に隱れて岩に咽ぶ水音が一層凄味を帶る。道は泥が深うなつて歩くのも却々困難だが急ぎ急いで馬を追ひつゝ下社地へ著いたのは午後一時であつた。下社地は戸數二十戸許りの一寒村だが茂山間島の會化社から會寧への交通路に當るので

酒幕も二軒あ

る。未だ時間も早いから大倉嶺を踰ゆる時間は充分あるが雨が激しうなつたから一夜を此處に宿らうことにした。「同じ泊るなら寡婦さん宿に行きなさい、家も婦も綺麗です」と村の者が冗談半分に教へて呉れた、亭主は借錢の爲めに昨秋行方不明となり今は二十一二のお嫁さんの一人暮しだといふことだ、其の酒幕の戸をイキナリ開けると物思はし氣に坐つて居つた婦が傍いて飛び上がつた「今夜泊めて呉れ」といふたが返事をせずに其のまゝ厨房に隱れて了つた、多分

洋服着た馬賊

か强盜とでも思つたのであらう……先方にはちと氣の毒な樣だが雨避だけは爲して貰はねばならぬ、サッサと馬から荷物を卸て室内に運び一服して居ると駐在所から所長の河野サンが飛んで來た、先刻新豐山から通知があつたから駐在所で準備して居るとのことだ、憲兵隊に厄介なるのも濟まないが、親切に甘へて荷物を運んだ

美しいセミヨノフ夫人が 忠臣藏に共鳴

例に依つて愛嬌タップリ お土産にはキモノもある

昨晩京城通過歸國の途に就く

先々月下旬京城を通過し一箇月餘り内地に滯在して居たセミヨノフ夫人一行は去月廿八日夜東京出發昨一日夜京城通過の北行列車で歸途に著いた。一行を車中に出迎へると、月桂樹か何かの模樣入りのブリチョークで頭髮を括み、灰藍色の羅か着けた夫人は愛想よく語る。「なんかして第一印象が隨分不愉快でしたが歸りには此の通り皆んな元氣で嬉しいです。こんなも皆さんから大變●●くして頂いた結果で、ならうことなら世界の公園で人情の美はしい日本へ永住したいと思つてる位ですから何だか西伯利には歸りたくないやうな氣が致します。此の度の旅行は

最初福岡に行つてそれから別府、横濱、東京、箱根などに遊びましたが何處も結構なところばかりでした。温泉場として別府が最も氣に入りましたが遊び所としては矢張り東京でございますね。東京には十日餘り居りましたが恰度露西亞の大歌劇團の一行が帝劇に參りましたので可成り應援に努めました。お國の芝居も度々拜見しましたが就中

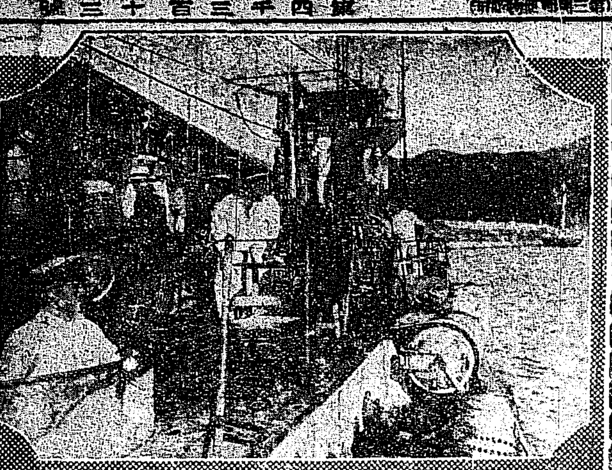
忠臣藏を

見たときが一番印象が深うございます。あの時は日本の侍と云ふものが判つたやうな氣が致しました。それから東京前にズラリと並んだ俥が器械のやうに秩序よく乘客の需めに應ずることなども日本人の行儀のよさを示し、公園あたりで遊んでる子供が玩物や珍らしい玩具などを持つて遊んで居た婦人連でも編物なんかして居るのを見ても日本人の日常の修養や家庭の教育や勤勉と云ふことが窺はれます。それで日本婦人の

修養を見

る爲に女子高等師範學校に見學などに出掛けたこともございます。滯在中澤山のお近づきも出來まして懐しい憶出を抱いて歸ることが出來るのはどんなに幸福か知れません。お土産も此の通りドッサリと持つて居りますが此の中には婦人に相應しい優美なキモノもございます。」

酷い檢疫に出遭つたりしました。行きがけには第一に新義州で●●一月餘りの御難澁や忌物やらでスッカリ健康も回復致しました。



寫眞は第五號の甲板上

潜水艦見たまゝ (四)

炊事場と床の窮屈さ加減

艦の内部に入つ、直感するのは狹くて而も息苦しい空氣の感じである。尤も之は艦内に住み馴れた乘組員などは殆ど感じないかも知れないが始めて入つて見るものには室内の狹隘な加減が直息苦しいやうな感じがする。先づ炊事場から覗いて見る。煮炊き等は總て電氣を用うるさうであるが何十人分も賄ふ炊事場さは到底想像もつかないほど小じんまりと纏つて居る。それから乘員の寢臺であるが之れは器械の中に潜り込んだやうで到底普通の人で我慢が出來さうにない位窮屈である。床の長さは足を伸べても大丈夫であらうと思はれるが巾は漸と三尺位に過ぎない。そして鐵の梯子の轉げ落ちる處があると見ね箱のやうになつて居る。そして一方が通路に面して居るが此の通路に面した床の受板はお膳の代用をなる仕掛である。そして此の寢臺に入る時は身體を横にして這ひ込まねば到底樂に入れまい。身體を床の上に横へると鼻を衝く位の處に電話のベルだとか何だとか無數の器械が突がつて居る。之れで海中を潜航中などよく安心して眠れたものだと感心させられる。

鐵道殉職者 弔魂祭

故小城氏合祀

四日は鐵道殉職者弔魂祭定例祭なるが本年奉祀さるべき人員は女満澤外百三十名にして故鐵道部建設課長たりし小城齊氏は退職後の死亡者なりしも特に鐵道に於ける功勞者として本期定例祭に合祀する事となれりと因に

勞働代表者と決定した 桝本卯平氏

麻浦で檢疫

魚撈禁止さる

龍山元町に於ける龍山警察署にては虎疫發生したるに鑑み一日より麻浦以西の下流に於ける魚撈並に河水使用を禁ずると共に當分の中麻浦に於て左の方法に依り檢疫を實施する事となれり即ち漢江下流より遡江し來れる船舶は凡て麻浦に於て之を停止し上流に航行せしめざる事、船舶の乘客船夫は警察官の檢診を受け健康狀態を確認し又は二回の虎疫豫防注射を完了したる證明あるものゝ外は一切上陸を許さゞる事、前項以外のものに對しては上陸せしめず其の結果判明するに至る迄船内に停留する事

管局にては遺族の參拜を勸誘しつゝありと

有毒地指定

湖南線の七驛

湖南線各驛の内虎疫有毒地として指定せられたる地方よりの旅客は檢疫證明書又は二回豫防注射を爲したるものに非ざれば乘車拒絶の事となりたるが有毒地として指定せられたる驛は群山、裡里、江景、咸悦、黄登、新灘津、論山の七驛にして右各驛は湖南線の咽喉を扼し中樞の要衝なれば乘降旅客の往來頻繁なれば嚴重なる檢疫施行せられつゝありといふ

目指す

鳥では今年は一番雉が多いさうで凶年には雉が繁殖すると諺に洩れず野山にも頗る多く鳴や鶉は既に美味の通り思はしくない鴨や、鶉の小鳥類は可成りだが天狗連には顧られない其天狗連の數は本町署管内だけでも約四百名物凄い事である。

呉服店

の賣出も各所で行はれるが今から始まつた所もお嬢さんや女中さんまで始めは驚く程る。三越は今年も物品の飾付を漬つて彼の衝撃を一目見んと、…

動物園

や植物園パゴダ公園の散策遊歩の人出多く今日はみな遠く其の遠足遊覧の人出多く今年も均一値上の電車も満員又…折柄の休日滿洲倶樂部も…龍山に來て漢都は遊志動く秋の空に醉うてる中に警察官は物々しい實地教練を行つて居た。

秋樣々

藝々名實共に秋の季節となつた柿や栗が色づいて疾い病葉はチラホラと散りかゝる。ポプラの枝は鋏刈られて市に送られる。野菜類の種類も變つた。夕陽に黄色は赤蜻蛉の影、田や畑には黄緑の波が打つて秋は今が眞盛りである

狩獵は

一日から解禁となつて今日の日を待ちに待つた獵者達は手馴れの銃筒に獲物袋、腰には彈藥を重く巻附けて或は前日から或は夜の明けぬうちから西に東に遠く近く出掛けたのは今…

江景の虎疫

百六十名

十月一日正午現在に於ける發病調査に依る江景の虎疫は總數百六十名内死亡七十八名なりと(二日發電)

忠南の新患

去月三十日忠南青陽郡青陽面に男二名女一名發病内男女一名死亡虎疫の疑ひあり目下檢便中(二日發電)

木浦に眞正

虎列拉

麗水にも發生

全南麗水郡三山面巽竹洞に疑似虎疫新患者鮮人四名發生内三名死亡系統調査中、木浦の鮮人患者は眞正と決定十月一日死亡せり(二日發電)

女工の爲に

夜學校を開設

東大門外鍾紡鮮綿絲株式會社にては今回同社工場に使用中の鮮人女工百三十名の爲めに二日夜より夜學校を開始し國語修身數學の四科を教習せしむる由なるべく歡迎す可き好企畫と謂ふ可し

宿料に困って

一狂言書く

市内旭町一丁目出雲旅館滯在京畿道京城府東山東常盤町松田繁太郎(三二)は一日午前九時頃本町署に電話を掛け「松田と申す者ですが旭町出雲旅館にて七十五圓を盗まれました」と本町署に屆出でたるより同署にては直ちに手配りをなすと共に聞き合せ居る中「該七十五圓は松田に渡した」と松田自ら本町署に電話を掛けたるより直樣其の狂言なる事が發覺し大目玉を頂戴したる上拘留二十五日に處せられたり尚聞く處に依れば松田は出雲旅館に五十餘日の宿料滯り居り宿に歸れば乾度催促を受けるもの、と知り偖てこそ右の如き狂言を書きたるものなりと

アンドレーエフ客死

現代露國文豪アンドレーエフは米國に向ふ途中芬蘭のヘルシングフオースにて突然客死したり(哈爾賓電報)

春川の鮮人巡査

我衞兵を侮辱す

生兵法は大怪我のもと 心得て置くべき陸軍刑法

我にバコタ公園に出されたる我歩哨兵に對し鮮人巡査が暴行を加へ陸軍刑法に問はれたる事件が今又鮮人巡査が我が衞兵に對し侮辱的行動を敢行したり此程の事なるが春川衞兵所附近の

銀杏の實を採らんと鮮人頻りに群集し木片或は石塊を樹木に投付し附近を汚す事甚だしき爲め衞兵上等兵鶴見政二は之を制止したるに群集の一人たる巡查金惠基は守備に來たのなら守備さへすれば好い守備の任務を知らぬ癖にと

生意氣な

奴だと侮辱し「は巡査なり法律の何たる位心得居るぞ」と罵倒する折柄週番士官來合せ直ちに是を其筋に報告したり金巡査は軍刑法を知らず衞歩哨の制止に背きたるものは陸軍刑法に處せらるると聞き

謝罪の爲

め出頭し内藤第三守備隊長に面會したるが鮮人中なかなか厄介の事なる由なるが鮮人中な…まじひ法律を聞きかぢりたるものが生可通を振り廻し陸軍刑法も知らず歩哨に揶揄う者もあるから歩哨の任務は重大にして歩哨兵が故なく守地を離れたる時は敵前ならば死刑に重懲役又は城砦地なる時は三年以下の懲役に其他の場合は一年以下の禁錮に處せらるゝ事となり居れる故に未だ歩哨兵に對し暴行脅迫を加へたるものは刑に處せらるべく鮮人は一般に左の條項を心得置く可からずと當局は語れり

暗兵に對し暴行又は脅迫を爲したるものは左の區別に從つて處斷す(一)敵前なる時は七年以下の懲役又は禁錮(二)其の他の場合なる時は四年以下の懲役又は禁錮に處す 暗兵に對し兵器又は兇器を用ゐて暴行又は脅迫を爲したる者は左の區別に從つて處斷す(一)敵前なる時は無期若くは五年以上の懲役又は禁錮(二)其の他の場合なる時は一年以上の有期の懲役又は禁錮に處す 暗兵を欺きて哨所を通過し又は暗兵の制止に背きたる者は左の區別に從つて處斷す(一)敵前なる時は一年以上五年の禁錮(二)軍中又は戒嚴地境なる時は三年以上の禁錮(三)其の他の場合なる時は一年以下の禁錮に處斷す

混合列車脱線

三十日夜午十二時大田發南大門に著すべき第三十三混合列車が十月一日午前四時半烏山驛構内に於て脱線し復舊に時間を要する爲め同客車は同驛に解放、猶同列車は烏山南大門間の旅客扱ひを停止したりと

逃れぬ運命

龍山元町二丁目二十七番地前科一犯連山伊八(四五)は詐欺賭博常習者として其筋の注意人物となるが本年一月十六日西四軒より元町一丁目九十番地金…に於て賭博の爲め探知されたるが中途より一同を捕へ弘中外七名と賭博中を其の筋の爲め探知され逃亡して所在を晦ましみたが九月三十日午後七時頃本署に同行中を逮捕せり

往來でお産

咸鏡北道明川郡生れ住所不定崔姓女(二七)は…陣痛を起し…

電車脱線

一日午後七時十分頃新龍山發東大門行電車第九號が目下工事中の南大門停留場附近進行中突然脱線したるが幸ひ乘客車輛共に被害なく間も無く復舊したるが一時は數臺の電車南大門外に立往生を爲し仲々の騒ぎなりき

井戸に投身

府内寺洞百十一番地金寅基妻金敬(三三)は九月二十八日午後九時頃病床を抜出で同洞百三十四番前共同井戸に投身自殺を圖したるを同夜十時頃金寅基が發見し引上げ種々手當を加へたるも終に蘇生するに至らざりき原因は日稼ぎの身に九月下旬より病に罹り生活愈々困難となりし結果厭世自殺を圖りたるものゝ如く屍體は檢視の後金寅基に引渡されたり

運動界

玉突大會

京城倶樂部にては十月四日午後零時半より米倉町同倶樂部に於いて秋季撞球競技大會を開催する由

滿倶軍敗因

守備攻撃共に振はず

滿洲倶樂部の慘敗は實に意外であつた今夏慶應を取り昨年四大チームを粉碎した猛烈な腕前が少しも見らなかつたのは何故か是は云ふまでもなく遠來の疲勞と片瀬投手を第一回にプレートを踏ませて四点を與へた爲め終始振はず

受け身の戰となり元氣の出塞した爲であらう滿倶軍の戰跡を見ると片瀬投手の鎮厭は老つてゐる、三振十五四球が二三本…云ふ成績であるが、守備は一般的に良好でなかつた上に攻撃も岸大門、の痛快な打が一つあつたが非常に心細かつた、殊に守備の聯絡が一寸もなく一元氣で行けと叫ぶ程、元氣か出んで居た、東京遠征の首途に於いて此慘敗は滿倶軍に取つて頂門の一針とも云へる、願くは要揮一番其實力を示して我々の溜飲を下げて貰ひたいものだ

鐵道軍の林田君が綾球で戰つたのは良い戰法であつた三振六、四球六と云ふ成績も先人…立派であるが一般的に守備もよく、油の乘つてゐたのでナイスプレーが屢々鮮かに示されて居つた、千葉、林田、宮永は特に目立つた、殊に盗壘の鮮かなのが目立つた、鐵道軍としては立派であつたが第四回人殘が本壘で憤死した時と第六回補部が二壘を盗塁した時と二回は誤審じはなかつたかと思つた、審判は飽く迄嚴正であつて欲しいとつくづく思はれた

野球リーグ戰

東協對鮮銀

全鮮教育協會主催の野球リーグ野戰は一日午前十時より龍山鐵道公園に擧行、東洋協會對朝鮮銀行の試合で火蓋を切れり、兩軍共に新進氣鋭の選手にて殺氣漲り頗緊張した試合を見せ最初鮮銀軍優勢なりしも東協軍力戰の結果六回目で十一對九と云ふスコアを示し鮮銀軍の旗色は大いに惡くなりたり午後より滿倶軍の試合ある爲七回を以て試合を終らんとの議鮮銀側より提出されたるも東協軍が承知せざりし爲問答つき鮮銀側は遂に六回戰にて棄權し東協軍は一勝者となれり一日の如き場合にリーグ戰を決行し其序森から文句が出たのは教育界の爲實に遺憾に堪へず

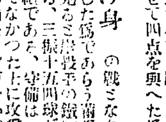
落し物拾ひ物

近來非常に遺失物拾得物の届出が多くなつた本町署では三十日迄に遺失物六十拾得物六件(廿餘圓)があつた。來は一箇月を通算して一日平均十二三件に當るさうだ八月二十三日には四百五二百圓二口合計八百圓の遺失物があつたさうだが未だ受取人がないさうである。物價騰貴の今日呑ん氣な人もある者だ一年を通じて一番遺失物の多いのは五六月で衣更への頃だそうである警察署でも遺失物には手が掛つて非常に困つて居る蝶口帽子などには名刺を入れておくかさなくば姓名を書記しておくがよいと本町署の係官は語つて居た

庭球界の人々 (三)

三井物産釜山出張所 本間俊介君(三井)

京城庭球界の先覺として又指導者として、我が本間君を推すに何人も異議はあるまい、君は大正三年頃までは京城庭球界の重要な選手であつて、本社の優勝旗戰などにも屢々其勇姿を見せてゐたが、夫れ以後は常に庭球界の世話役として後進の爲に斡旋盡力して居る。斯うして運動の實際的方面には逸ざかりつゝあるが審判者として其明斷な審判振りは殆ど毫末の疑をも入れしめない實に理想に近いものと云へる。明治廿一年十月山口縣吉敷郡鋳川村に生れ山口中學を出て東京高商に入り高商を出てから三井物産に入社したのであるラケットの握り初めは中學時代で其黄金時代は高商時代であつたさうだ。今日では現役選手としては稍分老込んだ傾きがあるが夫れでもまだ却々猛烈な腕前を持つて居る所が恐くあるまい、釜山出張所在勤なので釜山の庭球界は氏に依つて発する所が恐くあるまい、熱心な人だけに閑さへあれば城の試合は必ず見物に來る。娯樂は玉突、圍碁などで時に鬼に御同伴の圓滿な社會家である。現住所は釜山府大正町四の六八



灯頃

△未だ官舍が定まらずウロ〳〵して居る者もある△總務局の發案で住宅拂底では何とか困つて居るが役人連中の多分には拂込まるが出來ぬ來の官人で住宅問題が出て結局好い官舍には入りたいがソウする俸給はゼロになるといふに歸着した△張作霖氏の滿洲に於ける勢力は隆々たるものである有名だが假令自動車で人を轢殺しても夫れが支那人なら其儘に捨てて走るさうな。是は滿州客の土産話し△平壤では旅館の爲め旅館は何れも閑散だ△されば旅客のもてる事甚しく一家擧つて歡迎するから從つて祝儀もはずみたくなると云ふ具合△唯閉口するのは朝から晩まで酢の物攻めで胃が弱いものはウンザリする△女中が酒と云はずに豫防液は如何でと勸めるのが面白さにツイつぱらずで仕まうと平壤から歸つた人の話

給仕採用

履歴書携帶本人來談の事

京城日報編輯局

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 自今日より特別興行 當る九月三十六日より二十餘卷 米國トライアングル社作品 ○快活劇ドーグラスの冒險 二卷 日光の風景 休暇日の出來事 △笑話 正宗と三五郎 ハーリー・ケリー氏

元和三勇士 六巻 滑稽 日活京都…大作…

浪花館 電話二六〇番 京城府本町 ▲浪花節 …

京山愛子一行 當る十月一日より毎日午後六時開演 欧米新派浪花節 ▲御國の花 ▲小栗判官 ▲鍋島騒動 ▲五郎 ▲大功記 ▲水戸黄門記 ▲正宗と久助 ▲義士傳 ▲慶應美談

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇 當る九月廿日より 東京大阪歌舞伎俳優 博多米市丸 十一日目替り 一座 △…

大正館 櫻井町 日本活動寫眞會社代理店 電話八七三 當る九月廿六日より大喜劇提供 ◎實写 宮小猫 ◎新派悲劇「三人艶」長尺 米國メトロ會社特作 ▲大活劇 渦中の人 全六巻

猿飛佐助 漫遊記 エムミーサエーレン嬢出演 大日本活動寫眞…小説松之助十八番劇 …松之助新派…

らい病

最新療法 不治なる難病 秘密 …

りうまち

進呈 …

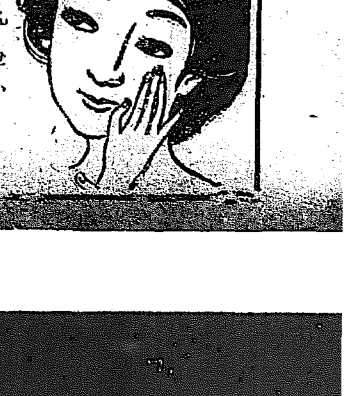
公認現物 坂倉株式店 仁川本町 電話…

龍 開澄商會

公債株式現物賣買 證券担保之金融信託 工業藥品理化學器械 滿洲製紙會社特約店 大連株式取引所會員 滿洲證券現物市場仲買 大連市若狹町一ノ三 電話長一四九八番 振替大連二〇二番

絶對に他に類の無い新發明化粧料

ホーカーパトッ



天性の白さを現はす 淑女の薄化粧料 紳士の隱化粧料

○天性の美しい白さを表はす ○ツキが善く離人の肌に合ふ ○洗へば美しい色艶を表はす ○夏の紳士の隱化粧料として好評あり ○匂ひ豊かに艶麗さを增す 全國到る處の小間物化粧品店に販賣す若し品切の節は直接本舖へ御注文下さい 定價一瓶金三十錢 賣早々各地に好評を得目下賣れ行き飛ぶが如し

第五版

大連近事

油房業者の前途

滿洲に於ける油房業は滿鐵の特定運賃制其他の關係上大連に於ける營業を利便とし往年多數の油房發生したるが當時生産過剩の爲め何れも困難に陷り從つて油房設に制限を餘儀なくされ居たるが戰後歐米に於ける植物油を原料とする諸工業漸次發達し來りたると共に豆油の前途も亦大いに將來を認めらるゝに至り現在豆油需用は從來の制限的産額に滿足する能はずしてより多くの生産を要求して已まざるものあり併し假に油房設自由を得たる彼等は既得權の動搖に恐れを來したるもの、如し當業者の既得の利益を脅かすが如きことありとするも大勢は如何ともなすべからざるものあり宜しく機宜を察し適者存續の理に從ひ益々自由競爭を爲すの外あらざるべしと一般に觀測されつゝあり

米國領事出發

大連駐箚米國領事エ、エ、ウイリヤムソン氏は二十七日午前十時の臺南丸にて賜暇歸國の途に就きたるが埠頭には中野大連民政署長、滿鐵重役等を始め當地重なる官民多數見送れり

混保委員會延期

大豆混合保管に關する特別委員會は二十六日正午より大和ホテルに於て開會大豆寄託者及び檢査人の責任範圍並に混合保管等に就き協議したるが兩者の見解一致を見ざる處あり次回迄保留して協議する事とし散會せり、

入選の虎疫は近來下火となり終熄間近づきたるもの、如きが日本人側に新發患者を見ず、支那人側に僅の罹病者を出し居るに過ぎざるに二十六日日本人三の新發患者を出せり

七蒙事件魂膽

去る九月三日ダウリヤに於て勃發したる七ミヨノフ軍の衝突事件に關して今其の發端並に經過に關し更に詳細に探査したる所に依れば事件の發頭人なる蒙軍側少將なるものは

胸中一物を

含むものある如く兼てより七軍の注目を惹らざる所なりしが傳は事件勃發前已の弟白錫山を奉天省督軍張作霖の許に送りてダウリヤ駐屯の蒙兵約一千を支那軍隊側に傭ひ入れられたき趣旨を交渉せしめたり張作霖は此の交渉を諾し取敢ず直ちに部下の參謀郭世清に佐を督状視察の目的を以て白錫山同道ダウリヤに出張せしめたり是れ所謂擾に奉天より入込める

怪支那人と

して傳へられたる其人なり然るに郭大佐が状況內査中端なくも蒙軍總指揮官なる歸化城活佛の爲めに發見せられ直ちに逮捕せられたるが活佛はそれと同時に一件の顚末を七軍側に急報したればセ軍側に於ては時を移さず傳少將並に其弟白錫山を逮捕せんとし茲に九月三日のダウリヤ衝突事件なるもの勃發したる次第なり而して傳少將は

逃場を失ひ

て逮捕せられたるが白錫山は逃走して今尚ほ所在不明支那參謀郭世清は蒙軍に捕はれたる儘是亦生死不明を傳へられつゝあり之に對し支那側に於ては蒙軍に對し非常なる悪感情を懐き目下奉天より密偵二名をダウリヤに派し前記郭參謀並に其他の狀況內偵中なりと云ふ（哈爾賓）

平鎭商議陳情

平壤鎭南浦兩商業會議所にては大同江水源地に於て汽水利用事業の計畫の勃興に就し今同殖産局長宛左の如き陳情書を提出したり

大同江は平安南道天與の大動脈にして飲用、灌漑、運漕及び工業等各方面に渉り是惠澤に浴するの極めて多大なるものあり即ち本道産業の開發は茲より平壤鎭南浦に於ける商工業の發展延ひては地方一帶の發達が大同江の水流に負ふ所至大なるは今更吹々を須ひざる所なり切言すれば西鮮の文化並に産業の發達は大同江の水流に依りて益々之を期し得べき中なれば之が水源を涸渇せしめざる事は極めて緊要なる事業たるべしと信ず然るに近來大同江上流地方に於て相當大規模の水力發電並に灌漑事業等の計畫出願も有之乎の右は時勢の進運に伴ふ好個の企業たるを失はざるべしと雖も被存候然るに是等の出願者に於て水源の涸渇を惹起する虞なきや否やに就ては尚研究を要すべく若し大同江の水を他に轉流せしむる如き事あらば漸く發展の途上にある兩地の産業に重大なる影響を及ぼすべく延ひては平南一帶の經濟界に一大打撃を與ふるものと被存候依つて事業の出願者に對しては仔細に其の調査研究を遂げられ以て一面積極的には大同江の水源を涸渇せしめざる樣保護せられ一面消極的には水量の減少を防止せらるゝ樣致度切望此段陳情致候也

日本に向ふ外人は

過激派の壓迫から

今後どんな形勢を起すか。歐洲大戰後外來人が非常にその數を増して來たのは言ふ迄もなく復活した世界の平和の舞臺上に活躍しやうとする全世界の人々の氣運からであつて日本人にも外國行きが多くなつたのも其爲めであるが戰前に比して

戰爭後の

外來人は約三割の增加であるその中米國人は相變らず多いがこれは戰爭前に比して寧ろ減少で戰前は春と秋に遊覽團體があつたけれども近來それがなくなつた儀である。そこで現在の外來人の七割乃至八割は露西亞であるがこれが戰後の著しい變化であつて獨人もポツ〳〵入つて來た二三年前までは東京のホテルは殆ど塞つたが去年あたりから夏季も冬季も餘り變じない殊にこの夏は

暑い間が短かつた爲か

例年は輕井澤日光箱根等へ避暑する客も東京に滯在してゐたので何處のホテルでもお客の三分の二は露西亞やうな有樣であつた外國人の大部分は商用で現在の歐洲は戰爭の未だ恢復の時に至らぬ商業上の發展が思ふやう出來ない一つ東洋へ出掛けて大いに活躍してやらうと

意氣込ん

で來たものらしいがまだ日本で仕事に手が付けた者はないやうである露國人の中には商用ばかりでなく過激派の壓迫から逃れて來たらしい者も大分ある兎に角今回日本へ來る外國人がどんな事業を起すか吾々日本人もこの際ほんやりしてはゐられない

秋の夜話し

紫の氣焰

元京城の夢路、今は仁川のお樂八阪の藝妓部屋に自らは旨目の中の目明きと任じての虹の樣な氣焰を吐きつゝ相も變らず世相を茶化して居る『ネーちよいと月もよくなつたわ秋の夜』お樂はすべて此の戀する者の苦みとそして浮く計りの樂みを經來つたかの樣に追憶の眸をそらしてシンミリする『戀い對照にすぐ金を持つて來る人があるが野暮な事だ斯んな商賣をして居ると間の抜戯の戀には金は害にこそなれ金にならぬ若は寧ろ戀するなら貧乏な人そしナマ優しい親切顏する男は嫌いだと云ふ事を條件に入れてきます、でも之は戀は樂みだ紅い戀の時代であつて一歩進めて家庭を作り世帶を持つ了見さな時は金のなる人こそ擇ぶのがれは金は是非なくてはならぬ其眞任だと思ひます』屆が下に並空を眺めて鍋下げても若い妓達は思ふかも知れないが生活の家庭では眞劍に食はねばならぬ』とお樂の戀愛觀には一眩識がある大抵の客は座敷に通つて座布團に胡座をしたら俺より上の者はない樣に傲がるが一度お樂の座敷に貧乏神が引き當てたら最後其の紫電の樣な快氣焰に見苦しいほど脂肪を絞らる、こは之ら仁川の一名物か

哈爾賓市場に現れた米國製品

之れから愈々戰爭で膨脹した哈爾賓市場に米國羅紗は哈爾賓市場に現はれ來れり此等の品は上海及び日本製品に比し頗る良質にして且堅固なり去り乍ら其價は不廉ならず因に出羅紗は單に露人商店に於てのみ賣捌かる、尚ほ米國製靴も近來市場に顯はれ來れり非常なる勢ひを以て販路擴張に努力し居れりされば同品の相場は段々と下落しゆく狀態なり

仁川神社大祭近づく

本年の祭典趣向

毎年の恒例大祭とする仁川神社の秋季祭典は十月十、十一日の兩日で愈々期日が近づくと共に之に對する準備や趣向では當番町は漸く忙しさに色めいて來た今年は第一區宮町通から濱町新町の主要部分であるだけ趣向も大きく意氣込も好いと聞く鐵道の總代として敬崇家總代の總改選を行ふた結果之等の總代打つて協議中であるから近く具體的に決定を見るであらう本年も例年と祭典順序に變りはなく十日の前夜祭が濟むと十一日に渡御の式があり例年の通り嚴に依つて神輿は市中を御幸せらるるこの日仁川藝妓は仕丁姿の總て參ずる事になつてゐるから評判の武者行列と相並んで異彩を放つに相違ない餘興としては內地人氣の素人大相撲の奉納がありや舞臺を設らへて藝妓の手踊りもあり撃劍の奉納大會等も催さる豫定となつて居るから秋の大祭は定めて賑やかな事だらう

虎列拉流行と素人豫防法

東京　澤協藥學博士談

虎列拉が完全にあらざれば其成績が防疫に關する事は市民の個人衞生に注意を拂はず、お役所任せでは甚だ心細い次第である、それで素人でも容易に出來る虎疫豫防法をお勸めしたいと思ふ勿論斯樣事は今日迄盛んに唱へられたる事であるが時節が時節だから一層注意して實行したら善いと思ふ食器類庖丁俎板布巾一切は

必ず水洗ひ落し

た後で更に鍋に入れて熱湯を打掛け冷ねてから使用する事としたい又漬物類生果西瓜白瓜桃梨等も同樣に熱湯を掛けて能く洗つてから食するが良い夫が爲少々風味が悪くなつても時節柄我慢しなければならぬと思ふ生水、水道水、氷、サイダー、ラムネ、ビールは飲まぬに限ると思ふ水道水は勿論砂濾してある水ではあるが決して殺菌してあるものでないから

直接の病源には

ならぬにして胃腸を弱めたり下痢を誘發したりする事があるのと思はねばならぬ又氷は多くは水道水から造られて居るものであるから水道水同樣に心得て飲用すべきでない冷たい物が是非欲しかつたら自家製アイスクリームか冷やし茶或は冷やし麥湯を少々用ゐたらよいサイダー、ラムネ、麥酒なども強ち禁止せよとは云はれないが中には

往々下痢を誘發

する恐れあるものもあるので素人が夫等を見分けるのが六ケ敷しいから先づ〳〵當分飲まぬ樣にするのが安全第一であらう、結局一言にして云へば一度熱した物でなければ食器であれ食物であれ使用飲食しないと云ふ事を端的に勵行する心得が最も必要である此意味からして

奴豆腐、刺身、鱠

サラダ（なますやサラダは酢で漬したためであるから幾分安心だけれ共絶對に殺菌されたものでない）の如きものも善いとは云へぬ虎疫豫防の標語として燒かねば喰ふなと云ふのは第一番であらうと思ふそれから食後用心の爲めにクレオソート丸即ち征露丸を二三粒宛內服して置く事を勸めたい之れは

肺病患者の藥だ

など、早合點をしてはならぬクレオソート丸は消化を能くし且つ防腐の効力を含有して居るから腸胃の食後のみならず冷やし麥湯やアイスクリームの如き水分を飲用した後で服用して居つた方がよい

蠅の驅除に務む

るのは勿論なれ共尚便所や塵芥箱の消毒が大切だから決して之を怠らぬ樣にしたい素人が一番使用し易きは生石灰であるから之に先づ少しの湯を掛け十分乃至二十分も放置すれば生石灰がふけて

ぼろ〳〵となる

から之れを水で溶して撒けばよいのである之れとて外側を白くした丈では效果もなければ一日に一二回撒く事を怠つてはならぬ其外色々あるけれ共素人が出來易く是非時節柄各家庭では此の件々を斷行し此悪疫を久しからずして消滅せしむる事は各自の爲めのみならず社會公共の爲ではあるまいか

商況

株式

東京現株（至急電報）

銘柄	▲印騰貴 掛込	△下落 二日中値
[illegible]	一〇〇.〇〇	▲二五三.〇〇
[illegible]	七〇.〇〇	一三七.〇〇
[illegible]	二〇.〇〇	……
[illegible]	三〇.〇〇	……
[illegible]	三〇.五〇	……
[illegible]	三〇.〇〇	一〇二.〇〇

東京株式（至急電報）

銘柄	二日前場大引	前電比較
東株	四五五.〇〇	一七.〇〇安
同新	四三六.〇〇	一六.〇〇安
滿鐵	一九二.三〇	七.六〇安
一新	一八七.〇〇	三.七〇安
二新	一五九.一〇	五.四〇安

大阪株式（至急電報）

銘柄	二日前場寄付	一日後引比較
大株	四二〇.〇〇	五.〇〇高
同新	四〇六.八〇	二.〇〇安
日郵	二七二.九〇	八.〇〇高
同新	一五一.九〇	一.九〇安
商船	一七六.〇〇	同
同新	一五〇.一〇	一.八〇事
鐘紡	四一七.五〇	二.六〇高
同新	三九七.九〇	四.九〇高
東紡	二九二.五〇	一.六〇安
東新	一八〇.〇〇	一.六〇安
堂米	一八七.一〇	[illegible]
上取	一七九.九〇	一.〇〇安

京城現株（標準値段）

銘柄	▲印騰貴 掛込額	△印下落 時價
仁取	三〇.〇〇	一五三.五〇
朝郵	二五.〇〇	四二.〇〇
電興	二五.〇〇	一九.五〇
皮革	三〇.〇〇	二六.〇〇
東畜	一二.五〇	一五.〇〇
朝紡	一二.五〇	三一.五〇
朝紙	一二.五〇	三五.五〇
商銀	五〇.〇〇	五八.五〇
同新	一二.五〇	一八.〇〇
滿毛	一二.五〇	▲六六.〇〇
滿糖	一七.五〇	四八.〇〇
朝煙	二〇.〇〇	三一.五〇
輕鐵	五〇.〇〇	七二.〇〇
鮮土	一二.五〇	二三.〇〇
東亞	一二.五〇	四四.五〇
栗貿	一二.五〇	三六.〇〇
仁倉	一二.五〇	一五.五〇
製粉	一二.五〇	一九.〇〇
朝日	一二.五〇	一五.九〇
朝綿	一〇.〇〇	二二.五〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
殖産銀行	一〇五.〇〇	四〇〇
朝鮮銀行	二六五.〇〇	五〇〇
南滿製糖	四八.〇〇	四五〇
神戸棧橋	六一.〇〇	四〇〇
同新	三三.〇〇	四〇〇
朝鮮製紙	三六.〇〇	一〇〇
滿蒙毛織	六六.〇〇	三七八
東洋畜産	一五.〇〇	一〇〇
朝鮮紡織	三二.〇〇	二六〇
東亞新	四五.〇〇	一七〇
東拓新	八二.〇〇	一九〇
日綿新	八二.五〇	一八五
鐘淵紡績	四一五.〇〇	一〇〇
大株新	四一七.〇〇	一〇〇
王子紙新	七四.八〇	五〇
仁川取引	一五三.〇〇	二〇

銀行株再興す

一時買過ぎの反動にて多少下押しを見たる銀行株は最近に至りて再び買氣を刺戟し邪々買物入り込み漸騰步調を告げつゝあるが廿九日東京現物市場の如きは日銀千二百七十圓同新千七十五圓方の暴騰を告げ朝鮮銀行の如きも何れも五六圓方の高值を唱へられ而かも買物の有樣にて又々買氣を刺戟しつゝあるものゝ如し爲めに當地にても鮮銀は二百六十五圓の高値を見るに至れり

毛織株尙硬調

東京毛織株が當業毛織と合併東紡所拂下を受く可しとして納會東毛を初め毛織物市場には俄然氣先移し東京毛絲が拂下なしとするも二十圓買の人氣を喚びて廿九日は遂に織所の拂下の八割方の利益を擧げ資本の數割配當も數十圓の事で前途勞働騷決して劇商の株の採算にあるが鳴物入りの如き兩株の事とて前途勞働人氣となり消化して再び六十五圓買を喚び逆調しから一方滿家毛織も豫想せられ居たりこれが爲め少しく相場高ければ人氣沸く騰に先走り氣味もあるとて昨日來滿毛は六十六圓處にて當地にての平均六十六圓處にて高値三百七十八枚の商內ありたり

東畜引締らん

東洋畜産株は久しく十五圓處に據付き居れるが同社は從來朱以上の配當を爲さず又利益も見るべきものも無かりし由なるが今期は早魃の影響も受けて利益を上げ得べき見込あり畜牛の生牛は多く同社の手を放賣するもの數知れず內地浦鹽方面へ輸出せられ二十圓にて其間の利潤は八朱以上の配當をなし得べしと見らるゝに至り頃日來外に多くの買物を引き締めんとする者ありて東畜も漸く人氣を集むるに至れり

電興株安事情

地株中最も賣買數多く一時廿三圓處迄買はれたる電氣が最近賣物のみ滿みて一向に買氣を催さず遂に二十圓を割りたるは該株好況の折柄當地の人氣が內地株に移れる事もあるが同社の經營が勞銀其他の事情の騰貴の爲め收支相償はず只費用のみ嵩み緊縮して延びたる成績面白からず不一致を生じ居る事や從業員間に意見の不一致を生じ居るやに傳へられる事も有力なる原因を爲し居れるもの失敗に終り在來の炭の完全燃燒法を試驗中なるが之れ且つは鮮內に於て自由に使用を發見したる事は會社の爲めに少なからぬ强材料なる事は云ふ迄もなけれども右は何れも尙研究中に屬し具體的に成功せるや否や知れず未知數に屬するもの其利益は未だ之れが爲めに受くる利益は其の成績の如何は一に掛りて今後に在り

（廣告）

賣　株　現　買

特約店　東京紅葉屋商會　公債株式現物賣買

㊎高松商會

京城府本町貳丁目
電話長三〇八五番
電略受信（タカマツ）
發信（ヤマミヤ）

現株　內地株式各地株式共賣買に御用命下さい
賣買は　可成迅速に致し少しも手數を掛けず取扱

大阪波瀾狀態

新南發會に於いて大株四百四十五圓六十錢大新四百三十二圓九十錢の高値に寄付き市場は引際喰み下押し大株式の如き遂に四百五十錢となり後場も引續き新四百七圓と引止め稍目立たる崩落を演じたるが目先大株は出現を夢み居る地場は之が物の押目なり買付くべき好機の買値調節を恐れて警戒心を一面固むる者もありしも一朝大株の五圓高寄付に反し入新は二十錢安に新郵船は八十錢高なるに新は一圓九十錢安と云ふ如く商狀區々となり又鐘紡の二圓六十錢新四圓九十錢高となるは同じ仲買中に思惑も..

金剛電鐵應募

金剛山電鐵株の應募は總督府補助八朱が呼物となり且つは第一回拂込金が設備金其他僅かに五圓の少額にして應募比較的容易なるより來る七日の締切日迄には數倍に達すべき見込みなり其應募手續は右株式申込受付は鮮銀本店の外當地丸一株式店にても取扱ふ由にて既に六百枚の申込ありたりと

中先克く賣募ふ

今新市の發會は中限に大手筋買捌り居れると連日阪地の高氣で入電に買方一派は此機に乘じて軟派の敷れを誘導せんと當限を始め中限をも爆上げにし存外敗れ物を集ひ小口の売物へ來れは僅々一圓〜二圓の手詰め急ぎにて新規買を增し三節は寒割れの八十錢に落込む不勢を示したれば爲に戾しの窮方達し當限克く防戰

京城正米市場

今前場は定期持合ひなりしと雖も限先の形勢何となく上走りの傾向あるも荷主の先高權へに買物漸次薄らぎ來れる外內地白米注文弗々入込むなど自然人氣上げ足となり今朝は地指上玄米にて四十二圓四五十錢を唱へられ昨午前中に比し又復三四十錢方の勢を見るに至れり最早新米の出廻りも近かければ何如に群衆勢却つて健實となれる振あり

新市大下鞘

二日前場

仁川期米

	當限	中限	先限
寄付	四一.四〇	四〇.四〇	三九.八〇
前止	四一.〇〇	四〇.二〇	三九.八〇
高値	四一.四〇	四〇.九〇	三九.三〇
安値	四一.〇〇	三九.四五	三八.六〇
止め	四〇.二五	三九.九〇	三八.八〇

（新市大下鞘）今朝天候晴天各地入電未著なるも前日阪地新市の發會高と漸次止高を入れしかば中限の買方一派は織烈に氣勢を高め公定買ひ立會は當四十二圓九十九錢と始め中限四十二圓五錢と六十五丁方大上放れに寄付きしも目先小口の利喰賣みに十錢と下押しが新市は硬派の奮戰に四十一反し一同新市は硬派の驕に六十錢と下押し五十錢と押し新入氣強き押し大混戰裡に引籠場した鮮人筋買付き二四十八錢と押し三ツ一圓二錢に乘じ軟派鮮賣物を賣出に一圓の暴落を見たる爲め二節も ...

米　況

東京期米特電

二日前場 限寄付 三十九圓六十六錢 當限寄付 三十八圓九十錢 一日後場

	二日前場	一日後場
寄付	三八.九九	三八.九九
高値	……	三八.八五
安値	……	三八.九九
止め	……	……

大阪期米特電

二日前場 限寄付 四十一圓六十錢 中限寄付 三十九圓六十錢 一日後場

	二日前場	一日後場
寄付	三九.〇一	三九.〇八
高値	……	三九.一一
安値	……	三九.〇八
止め	……	三九.一〇

正米變らず

神戸期米特電

	二日前場	一日後場
寄付	三八.八二	三八.六六
高値	……	三八.六七
安値	……	三八.五三
止め	……	三八.六〇

正米變らず

下關期米特電

二日前場（晴）

	當限	中限	先限
寄付	四〇.四〇	四〇.三五	三九.八〇
高値	四〇.四〇	四〇.二〇	三九.三〇
安値	四〇.五〇	三九.九〇	三八.七九
止め	四〇.一五	三九.八〇	三八.七〇

に努めしに九十錢に喰ひ止めたるが新市は新米の出盛期とふかければ買方一派は此機に乘じて新市鮮入筋の買物は米價は四二十五丁と從由るの機を施し新市は百〇五丁と滿々たる以外の下鞘に諸れ新市の買物は反撥したる機先大阪筋猛烈の氣配呆けを移して鮮人筋猛烈の買込み四節遂に二十錢と反落況に陷り買方一派は先限の崩れを除くせらるる安値は買ひ掛らひに三十錢と返し二十九錢と打止めたるも發會早々新市はも問題として特筆すべきもの無き中限は買方一派の目覺らひも、マバラ筋の値惚れ賣募ひの風情あるもけに自然容賣の咎めは免かれ難かるべし

市場雜觀

軟派の活躍期と目されたる十一日は本日より戰端の幕を開らいたが期の米か何んの爲に斯く高い去れば新米出たが相變らず高い只硬派が買ふが爲であると一概に云ひ做すは抑も僻目で▲米價の大勢が人爲的に左右し能はざる事は其の例證として既往多くみ數ふる事が出來るのであるが然れば此の高いにも種々原因もあらうが第一通貨の膨脹である故に此の膨脹にして止まらぬ限り米價は時勢に連れ依然昂騰すべきは世間一致した結論なるにも拘らず只軟派が外米〈と理想に走り過ぎて不割を買込むから限月には其の仕舞を見越した米價は小麥などと違つて世界の主要食料で無い▲外米の輸入があつても未だ米價の大勢を支配する底の勢力はなく米價と爲にも國內の需給關係で相場の人氣の消長に時には人爲的偏境にある丈けに動かさるゝ陷り易く其の安定を見出すにさしへ苦しむ、居る現今に際し大正八年度の鮮米は將來氣遣しき立場に遭遇せんとする事は當局でも好く認めて居ればこそ其緩和に最善の努力を拂はれて居るが例へ輸出力以上の減收を現はすにしても集散市場に新米が出廻りて來る事になれば行き掛りの上商人は內地其他に移出されるので▲自然供給不足の量を增す事となり朝鮮獨特の割高相場を演ずる事に立到りはすまいが一例を示せば此の新穀期を目前に控へしのみか早稻の如きは弗々出廻らんとするに際し▲各集散市場の在米は內地不引合の爲め例年よりも多量を示し居るも向弛まずも逆に高步調を辿らんとして居るではないか去れば內鮮人生活の安全を事前に防んとせば當局に於いても此秋に根本的政策を施設せなければ鮮米の前途は把憂の至りであると買方一派の氣焰甚だ猛烈である▲仁川市場の成金連廣澤內海今村の三氏は內地各市場視察の爲一日午前の特別急行列車で上阪の途に付きしが何れ節商內改正視察の爲ならんと唱へ居るが如し

電話增設

二貳五七番

京城南大門通二丁目　公債株式現物問屋　浦長商會　電話長二七七

京城正米市場

相場	二日
寄付	四一.三〇
止め	四一.二〇
高値	四一.六〇
安値	四一.二〇

公定相場	
一節	四一.五〇
二節	四一.四一
三節	四一.三三
四節	四一.二九
五節	四一.三〇

本日出來高　廿二萬二千五百石

値段	當限	中限	先限
帳入値段	四十二圓九十錢	四十二圓〇五錢	四十一圓四十錢

仁川正米市場

當正米市場は人氣相變らず安含みなるも手持筋依然賣惜み且つ期米高に促がされたる等にて今朝は人氣强含みと變じ忠清道三等合格新米八叺の手合せを始めとして三等合格古百七十叺にて四十三圓五十錢地指十一叺四十一圓丁度にても何れ奧田賀力武商含みなりしが手前中商談行は（以下略）

延期賣買開始

旣報穀物組合に於ける雜穀延期賣買は今二日より愈々取引開始されたるが初取引の當日とて組合員大牢の出場あり且つ正米高に伴ひ各雜穀好勢の機先商內活の外機みたり御祝儀商內として行はれたる物左の通り也新幕大豆四斗入四百十四叺十九圓四十錢（現物）▲上十四叺の渡し▲當口粟五百十八叺十月渡▲龍山大豆三十二等二十錢 [illegible]

白米續いて漸騰

頃日來漸々引締め模樣を呈せし白米市中卸値は小賣値との鞘開係より尙充分の採算を得ざりしも本月より小賣値上を實行せる爲に原料の玄米相場に高模樣に今朝は各精米所共に三十方を引締め一等米五十四圓五六十錢を唱へらるゝに至れり

三品

綿布チリ〳〵好調

一日後場

	綿布（一三二銘）
十月限	十七圓七十錢
十一月限	五八五.〇〇
十二月限	……
一月限	……
二月限	五四八.一〇

綿布は一時在荷の過剩を懸念せられたる時期ありしも雜貨方面大阪に於て轉賣せられし物可成りに多かりしと順調に一段落を告げたるより此處在荷として維持物の潤澤を唱へらるゝのみにて三品其他の通り票は何れも手當て先づ（以下略）支那方面の好望株式界の熱狂等に刺戟せられ此處又復前途の供給不足を離さるゝに至り大阪入電は逐日好報を移すなど昨今地方需要一段落後の閑散に似ず氣配は徐々引締まり氣味にて粗布三五一現物五百十圓ミ二十三圓方締まり先物も廿三圓八十五錢見當を唱へ商內頗の裡にも一二十錢方の上向きを見せたり

砂糖依然焦付

砂糖は爪哇糖の小變に伴び內地相場一高一低を繰返すのみにて未だ騰落外の機會來らず當地も既に投げ物出拂ひ素人筋の現物持品は何れも持久の膽を固め對安物の跡を斷ちたる折柄とて市況依然として不活潑ながら目下ゼーの卅七圓見當に釘付され却つて健實となれる振あり

（廣告）

下關米取引所仲買　㊇桝谷米市

多少ニ不拘御注文被下度確實可迅速ニ御取扱可申候尙店ノ依頼ニ應ジテ下關第一銀行住友銀行支店ノ何レヘナリ共御間合ナシ乞フ

資本金　四千萬圓
拂込濟資本金　參千萬圓
積立金　四百貳拾壹萬八千圓

朝鮮銀行

總裁　美濃部俊吉

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店及出張所派出所
內地　東京 大阪 神戸 下關
朝鮮　釜山 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 大邱 會寧 新義州 羅南 淸津
滿洲　大連 旅順 營口 遼陽 奉天 奉天新市街 長春 吉林 安東縣 開原 四平街 鄭家屯 鐵嶺 哈爾賓 齊々哈爾 滿洲里 龍井村
支那　北京 天津 濟南 青島 上海
（交換所）浦潮斯德（支店）ブラゴウエシチエンスク ハバロフスク

右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

宮內省御用達

ヒゲタ醬油

千葉縣銚子港　銚子醬油株式會社釀造

代理店　京城明治町二丁目　櫻正宗發賣元　山邑京城支店　電話長八四九番・四五四番　振替貯金口座京城七四五番

ユートピア　一名金屬磨液

發賣

定價　一封度罐入　金壹圓　半封度罐入　金六十錢

鮮滿一手發賣元　京城大平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇番　振替京城三〇〇九番

本品ハ眞鍮、銅、ニツケル、錫、金其他總テノ金屬ノ磨光ニ適シ而モ何等手數ヲ要セズ最モ迅速ニ且金屬ノ品質ヲ害シ若クハ腐蝕スル事ナク價至廉是非御試用アレ乞フ
本品は鐵道院及川崎造船所其他著名の官公署諸會社等より多大の御用命を蒙りつゝあり

軍馬參拾壹頭拂下

右希望者ハ印鑑携帶左記日時場所ニ出頭スベシ　京城憲兵隊

十月八日午後一時　龍山憲兵分隊ニテ　五頭
同九日午後二時　城東憲兵分隊ニテ　九頭
同十日午前十時　鍾路憲兵分隊ニテ　七頭
同十一日午後一時　開城憲兵分隊ニテ　拾頭

藥種賣藥卸商

醫化學諸器械一式

Ⓚ

仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城六七番

京城本町　永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六二番

男　女　生殖器病　無代進呈

りん病　なほす

藥で治らぬ男女生殖器發育不完全機能の衰弱は病がちな不能症神經衰弱早漏包莖等に手輕に

專賣特許自宅安全自療法也

京城大和町一ノ四　奉天南四條通〔ほか〕　東京市日本橋區本材木町　大阪北區北森町一　新療法研究所

（右欄外）……同はつ、山崎發男、小山久雄、同阿波谷庫治、渡邊新之助、同千代、尾藤次郎、同てる、同英吉、同為郎、同間佐平、同和夫、金井福松、山崎男、桝谷軍七郎、長野喜…

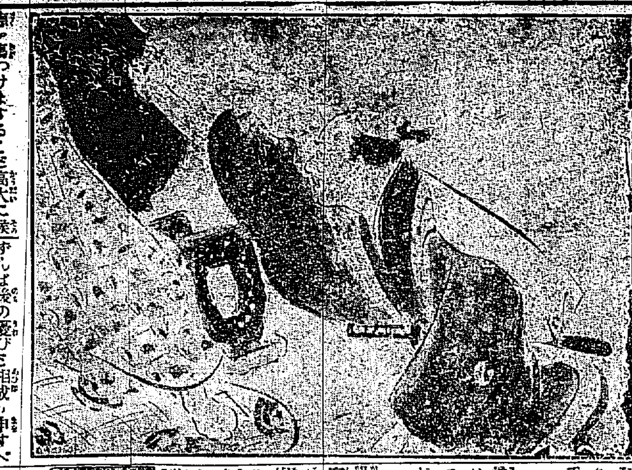
伊達騒動

小金井芦洲講演

第十八席

三平が必死の諫言

兩手を突かへ頭を垂れて居りました三平恐る〳〵面を上げ、君公の御顔を遠侍の間遥観て居りましたが『三平恐れながら私儀は瑞巌寺殿御馬前に勲功あつて御取立てを蒙り候者、身分こそ足輕小頭なれど士分も同じ家柄の者、また荒浪梶之助と申す者は卑しき相撲取り何の功名ありて御召抱へに相成候哉、彼は貴人の御遊興の席に侍り御酒宴に興を添へ參らする幇間同樣のうつけ者、働き振りもあらざる者を五十石と云ふ大祿を以て召抱へさせられ、日夜御傍に近かれ御寵愛遊ばすは君の御德を傷つけまするこそ高大に候、匹夫の悲しさには君の御寵愛を蒙れば上見ぬ鷲の振舞虎の威を藉る狐とやらん、僕の爭ひより佐藤半吉を蹴し討同樣に致しました、元が武士にあらざる故斯る行ひも致しまする、是れをお棄て置きに相成りますれば自然家中の心ある者君を恨み奉り君不明の罪を末世に殘し給ふぞ、私儀身不肖なれども御先祖以來代々高祿を戴き、目付役を蒙り居ります、さする以上、君を不明と誹らせ參らすること肉を抉らるゝよりも悲しく、是れと申すも萬事奉行職原田甲斐の不忠より自然君の御威光を傷づけ奉れり、謂けれども甲斐儀、表に忠義を裝ひ、内心に言ふに忍びざる惡計を逞しう致す、極惡は仁者に似たりとの例への通り、過日門前掃ひ仰付けられたる佐藤半吉の妻子に對し若干の手當金を遣はし、其ド門前近くの町家に住はせ棚口の道を授け居ります、是れ即ち君の御無慈悲を憾むと世間に漏らし己一人仁者なりと云はする彼の深き巧、また二つには君屡々吉原の遊里に出入し給ひ卑しき婦人に現を抜かし給ふこと最早家中誰一人知らざることもなく、されば綱宗奉行の甲斐として唯一人知らざる道理のあるべからず、然るを今日までに何か御意見ヶ間敷ことを申上げ候ふや、是れぞ甲斐の恐るべき所にて君の御不行跡愈々大公儀に聞こへ候時は必ず何等かの御咎めも是れあらん、其虚に乘じて何か深き企みのあることを手前愚考仕りまする、甲斐の行ひ不忠とや申さん、不義とや云はん、唯今の内に除かずんば後の憂ひと相成り申すべく何卒々々ハヤ御迷夢を覺し給へ、我君々々』と涙を流して疊を叩いて縱橫無盡の快辯を以て滔々と直諫を入れた、苟にも封建時代に主從となつて主人に什麼に不行跡があつたりとて斯くまでに意見をいたすといふ人は珍らしい、諫言にも色々の方法があつて斯くの如きを直諫といふ、夫れとなく諷して諫めるのを諷諫といふ、譬へて云へばお家は末代君は一代、此の非行をお改めがなければ據ろなく御一命をも縮め奉つてお家の恭きを計らうと云つて刃物を擬して君に迫る、これを強諫とか申します、且つ三平のなしたのは體面を以て申上げて加之ならず是れを敢行して斯くの如くに直諫を入れたは又と得難き誠忠の武士、けれども迷つてお出でなさる時には良藥口に苦く諫言耳に逆らふと云ふ例への通り愈々以てお怒りの眼差じくじり〳〵と膝を進め給ひ綱『默れ、予の便りに致す原田甲斐を捕へて讒くなる惡口、又予に對して暗然と云はぬばかりの罵り方、憎き奴め、目通り叶はぬ、退り居らう』三『ハヽツ、恐れながら左まで不明の君にてはあらせられざりしが如何なれば斯くは成らせ給ひしぞ、餘りと云へば情なし、君ッ、今一應思ひ返させ給へ』と手を延ばしてお袖に縋らんとするを振拂ひ綱『エーイッ聞くも却々に汚らはしい、立去らんか』三『何と御意遊ばしましても敢むるこの此の一言承はらぬ内は此の處何時かな退き申さず』綱『コリヤ一同の者、無禮者三平を目通りより退けよ』『ハッ』と應へて多くの御近臣ッカ〳〵と亘三平の周圍を取り卷く『アイヤ亘氏、君公の御意でござる、お退がんなさい、お退りなされ』と手取り足取り引立てられました



産科 婦人科 京城壽町 電二二〇一 二宮醫院 醫學士 二宮 亮吉

安東十年史(安東縣)

普通學校附屬 仁川公立普通學校は收容生徒の增加と共に教室の狹隘を感ずる事甚だしく之が增築に就ては既に前年來の懸案となり居りしが愈々許可と共に地方費の補助を受け一面寄附金を以て豫定通り二教室の增築を爲す事となり不日請負入札に附し直ちに工事に着手すべしと

發騰に脫稿したる安東民團の編纂せし安東十年史は目下京城に於て印刷中なるが來る十月十日頃には印刷を終る見込みなりと

明治町二 京都たまや出張店 電話二一九六 京吳服

十月四日 (舊八月十一日) 土曜日▲つちのとうし▲五黃▲赤口▲柳▲さたん

▼五黃▲周圍に氣を配るべき日

▼六白▲幸福なる日にして或は目上の引立を受くるやも知れず

▼七赤▲福利の聚る日にして思ひ立ちたる事は進んで行ふべし

▼八白▲歯切れの好き樣な日にてすら〳〵と物事の運ぶべき日

▼九紫▲賑やかな愉快な日なれど調子に乘り過ぐれば却て凶也

▼一白▲骨折り甲斐のなき日也

▼二黒▲纏りの早き日にて共同事業には殊に成功すべき日なり

▼三碧▲結構なる美事なる日、同情もあり後援もある吉日なり

▼四綠▲優遇を受くる日にて理想通りに物ごとの好く纏る日也

人蔘エキス

京城本町壹丁目 電話 一四八〇番 八七〇番 ㋡津村兄弟商會

●くせ毛縮毛は唯一瓶で直る

藤本藥學士が責任を以て其効能を確證せし

如何に容貌が綺麗でも髮が縮れてバサバサして居ては所詮[illegible]人とは申されません、縮れ毛でお困りの方は試驗の最も無害にして髮結さんの秘密に使つてゐるくせ毛直しテンダー!をつけると即座に綺麗な丈なすお黒髮となり、加ふるに頭垢、脫毛を防ぎ永久に美髮を保つ効能のある美髮料であり升

定價壹圓五十錢、卅錢 美髮專用テンダー香油五十錢、送料十錢 全國の化粧品店藥店に在り

發賣元 東京銀座弓町 大阪安土堺筋 中南定太郎

せきずい

病には効能正しき良藥あり困難の方は往復葉書にて御照會あれ詳報す 播磨國明石細工町 高砂屋商店

ね小便と小便近き人へ

驚く程の全治者の禮狀が毎日來る新發見の療法あり今回人助けの爲めハガキで申込の方へ無代進上す

東京市京橋區築地町 電話京橋三九七六 救世院

ゆび一切其外切疵、腫物、火傷、痔疾等の大妙藥は

定價五錢、拾錢、三拾錢、五拾錢

本舖 大阪東區瓦町難波橋通り 中井馬鑑製

御求めの節馬の商標に御注意を乞ふ

ゲンノショウコエキス

本劑は各病院、諸大家諸君の賞用[illegible]

藥價 卅五日分一圓六十錢 廿五日分一圓十錢 十五日分(十日分)六十錢 試用六日分三十錢 送料各二十錢

本舖 京城若草町(新道路) 東洋藥房 電話三一四一番 振替[illegible]

模範全乳 ▲李王職御用 ▲鐵道病院御用

東亞牧場 場主 獸醫 肥塚正太 (電話五二番)

朝鮮總督府遞信局 購買組合指定店 和洋雜貨販賣 京日代理部

内容を公示して責任を明かにせる

處方明記

ミツワ家庭藥

ミツワ家庭藥は内容を公示して誇らに萬能を説くが如き賣藥に非ず現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助劑也

特長

一、處方を明記し内容を公示す。

一、處方的確にして奏効顯著なり。

一、藥品純良にして効力一定不變なり。

一、容器完全にして變質の虞無し。

一、内服藥は錠劑にして服用し易し。

一、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

處方公開

皮膚の損傷に應用すべき家庭常備藥

ミツワ撒布藥

盒入 試・小・大 [illegible]

主要成分 タンノホルム、硼酸、炭酸マグネシウム、酸化亞鉛、澱粉(詳細は説明書にあり)

適應症候 汗疹、手汗、足汗、多汗症、腋臭、表皮剝脫、皮膚擦爛、皮脂漏、瘙痒、蕁麻疹、濕疹

外傷や種々の病症の爲に、皮膚が剝けたり爛れたりした場合、四季に拘はらず、手足或は腋窩などに汗が多く出て、而も嫌な臭氣を發する症、皮膚から脂肪が出過ぎてそれに塵埃が附いて汚らしい皮脂漏、それが原因となりて出來る痒、其他濕疹、蕁麻疹、汗疹などには、ミツワ撒布藥を用ふるに限る。殊に乳兒に在ては頸や腋窩及陰部の附近が、紅く爛れることが屢々あるから時々清潔に拭いて本劑を撒布せねばならぬ。

處方公開

腋臭を治癒せしむべき制臭制汗藥

ミツワ腋臭藥

一壜 金參拾錢

主要成分 フォルマリン、サリチール酸、タンニン酸、安息香丁幾(詳細は説明書にあり)

適應症狀 腋臭、會陰臭、手汗、足汗、其他汗の多き或は臭き病症

腋臭は青年に最も多く、腋の窩から出る汗が不快な臭氣を放つのである、足汗は足袋や靴下などの爲にむれて分解して惡臭を放ち、それが爲、時には水泡が出來て、痛み或は痒く、足は濕氣を帶びて冷たく、凍瘡を起し易い。手汗は神經衰弱や貧血の少年に多く、手掌が濕つて衣服や器物を汚し、常に粘つて冷たい。是等の腋臭、足汗、手汗にはミツワ腋臭藥を塗るに限る。而して發汗の爲水泡が出來たり、爛れたりした際には、ミツワ撒布藥を用ふるのが好い。

處方公開

頑癬殊に陰囊癬及白癬に大効ある

ミツワ頑癬膏

一壺 金武拾錢

主要成分 ベータナフトール、沈降硫黄、木タール、酸化亞鉛(詳細は説明書にあり)

適應症候 頑癬、陰囊癬、白癬、疥癬、濕疹、其他細菌等の寄生に因つて起る皮膚病。

頑癬の中最も多いのは陰囊癬で、初め陰囊に紅い圓い斑が出來、其の周圍に小さい水泡をつくり、漸々大きく擴がつて、皮膚が糜爛又痂皮で被はれた輪廓が出來て、甚だ痒いもの。白癬とて頭部に出來るしらくも又顔面に度々出來るはたけ、其の他ぜにかさなどの類。しつ或はひぜんと稱へ、疥癬と謂ふ蟲が寄生して起る皮膚病で、指の間、腋、腹部、股部、臀部、陰部の附近などに出來て頗る痒いもの。是等の皮膚病に罹つた場合には、ミツワ頑癬膏を塗るに限る。

處方公開

制痒の効著しく繃帶の要なき糊膏

ミツワ制痒膏

一壺 金武拾錢

主要成分 石炭酸、酸化亞鉛、グリセリン、トラガカンタ(詳細は説明書にあり)

適應症候 皮膚瘙痒症、汗疹、水蟲、凍瘡、皮膚皸裂、蕁麻疹、痒疹、火傷、癜風、疥癬、蟲類及び魚類に刺されたる場合

ミツワ制痒膏は瘙痒を止めるのが目的であつて、丘疹や水疱又膿疱が出來、ジク〳〵濕つて痒くてたまらぬ濕疹、肛門や陰部の皮膚に瘙痒を感ずる皮膚瘙痒症、手の指や足の趾の間に小さな水疱が出來て、瘙痒の著しい水蟲、其の他癜風、蕁麻疹、火傷、凍瘡、皮膚皸裂、汗疹、蟲類及び魚類に刺された場合には本劑を塗るに限る。本劑は普通の膏藥と違ひ清潔で粘著かず、繃帶する要が無く、至極便利で、而も奏効確實の良劑である。

家庭治療法(定價五拾錢)但郵券拾五錢を送附あれば送呈す

處方公開

痤瘡を治癒し毛瘡白癬に卓効ある

ミツワ痤瘡膏

一壺 金二十錢

主要成分 レゾルチン、チゲノール、沈降硫黄、樟腦カンフル(詳細は説明書にあり)

適應症候 痤瘡、皮脂漏、酒皶鼻、毛瘡、白癬、疥癬、粃糠疹、顔面膿疱疹

妙齢の男女の顔に、著しく出來、針先から小豆位の大きさの丘疹で、其の尖頭に黄色い膿をもち、其周圍は紅く腫取り、膿が去ると小さな痂皮が出來、其跡に黑い色素が殘り、容貌を極めて醜くする痤瘡、皮膚が膩ぎつて厭な光澤を帶び、幾度拭いても復忽ち元のやうになり、其に塵埃が附いて汚らしい皮脂漏、此等皮膚病にはミツワ痤瘡膏を塗るに限る。又痤瘡などを豫防するには、ミツワ石鹼と芳香健膚藥のミツワ雪の雫とを用ひねばならぬ。

處方公開

火傷表皮剝脫擦過傷に適用すべき

ミツワ泥膏

一壺 金十錢

主要成分 酸化亞鉛(詳細は説明書にあり)

適應症候 表皮剝脫、擦過傷、火傷、凍瘡、皮膚皸裂、毛瘡、漆瘡、蕁麻疹、濕疹、皮脂漏

ミツワ泥膏を創面に塗ると纖細な被膜が出來、外から來る刺戟を防ぎ、創面を乾かし、組織を緊める、それ故本劑を表皮剝脫や擦過傷又火傷に塗れば、痛みも止まり、跡方も無く治る其の他毛瘡、蕁麻疹、漆瘡等に良効がある。

處方公開

痔疾のあらゆる種類に卓効を奏する

ミツワ痔坐藥

六個 金四拾錢

主要成分 鹽酸コカイン、タンノホルム、イヒチオール(詳細は説明書にあり)

適應症候 痔核、痔瘻、肛門裂瘡、脫肛、肛門内に瘙痒ある場合、肛門部に疼痛或は灼熱感ある場合

痔疾卽ち痔とは肛門の内或は外に小豆位から鷄卵程の大きさの結節が出來て、多少痛み時々出血するもの、卽ち痔核、肛門の内外に孔が出來て膿の出るもの、卽ち穴痔、肛門の粘膜が裂けて劇しく痛み血の出るもの、卽ち裂痔等で、是等には緩下劑で便通を適宜にし、ミツワ痔坐藥を用ふるに限る。

ミツワ家庭藥の種類と定價 (内地以外は關税運賃を加ふ)

品名	容量	定價
ミツワ健胃錠	三十錠	拾錢
	百錠	武拾錢
	三百錠	五拾錢
ミツワ消化錠	三十錠	拾五錢
	百廿錠	五拾錢
	三百六十錠	壹圓廿錢
ミツワ制酸錠	百五十錠	武拾錢
ミツワ緩下錠	四十錠	拾錢
	百廿錠	武拾錢
	三百六十錠	五拾錢
ミツワ止瀉錠	廿五錠	武拾錢
	六十錠	四拾錢
ミツワ解毒錠	三十錠	武拾錢
	七十錠	四拾錢
ミツワ驅蟲錠	廿五錠	武拾錢
	六十錠	四拾錢
ミツワ清涼劑	一盒	拾錢
	一壜	參拾錢
ミツワ解熱錠	三十錠	武拾錢
	百錠	七拾錢
	三百錠	武圓
ミツワ祛痰錠	三十錠	拾五錢
	百錠	四拾錢
ミツワ鎮咳錠	百錠	壹圓五拾錢
ミツワ結核錠	百錠	武圓
ミツワ人參錠	百錠	五拾錢
	三百錠	武圓
ミツワ複方人參錠	百錠	七拾錢
	三百錠	參圓
ミツワ婦人湯藥	八十錠	五拾錢
ミツワ婦人坐藥	六個	五拾錢
ミツワ鎮靜錠	百錠	壹圓武拾錢
ミツワ治淋藥	カプセル五十個	壹圓五拾錢
ミツワ淋疾洗滌液	洗滌器附一壜	五拾錢
ミツワ點眼液	點眼器附一壜	拾五錢
ミツワ鼻病液	一壜	參拾錢
ミツワ齒痛液	一壜	武拾錢
ミツワ含嗽錠	四十錠	參拾錢
ミツワ硼酸錠	百十錠	武拾錢
ミツワ頭痛液	一壜	四拾錢
ミツワ螫蟲液	一壜	武拾錢
ミツワ發毛液	一壜	五拾錢
ミツワ腋臭藥	一壜	參拾錢
ミツワ撒布藥	一盒	拾錢
	大盒	武拾錢
ミツワ泥膏	一壺	拾錢
ミツワ制痒膏	一壺	武拾錢
ミツワ痤瘡膏	一壺	武拾錢
ミツワ頑癬膏	一壺	武拾錢
ミツワ凍瘡膏	一壺	武拾錢
ミツワ痔坐藥	六個	四拾錢

發賣品目錄申越次第送呈 ミツワ石鹼本舖 東京橘町 丸見屋商店

EAU DE FLEURS

made from the best material through a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion on your underwear, towels, handkerchiefs, sheets or into the water when washing or bathing, will be charmful and quite refreshing.

Price 45 Sen and 70 sen.

芳香馥郁たる家庭用肌着香水オード・フラル

ミツワ花の雫

從來の家庭用香水は徒らに強烈なる香を放ち、手巾、衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し「ミツワ花の雫」は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面、浴湯等に用ふれば、清涼の感を得ること本品に優るもなく、各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。

定價 金四拾五錢 大壜金七拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

MITSUWA HAIR LOTION.

Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will at once notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove dandruff, stops scalp itching and prevents hair from falling.

Price Sen 50 and 80 Sen.

毛髮の營養料頭髮用衛生香水ヘーヤ・ローション

ミツワ月の雫

健良なる品質を具備し、毛髮の衛生に適するミツワ石鹼を以て毛髮を洗滌せる後、此の「ミツワ月の雫」を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、榮養を良くするに特効ある美髮料なり、故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の榮養料頭髮用香水なり。

定價 金五拾錢 大壜八拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

MITSUWA YUKINO SHIZUKU.

(Eau de neige)

Skin tonic, strengthening and beautifying the skin. Mitsuwa Yukino Shizuku (Eau de neige) is of supreme value in the care of the skin. It cleanses the pores, brings the blood to the surface, stimulates the small, muscular fibres and preserves the tender, delicate skin. If Mitsuwa Yukino Shizuku is applied every day, the skin will not be harmed by the sun and the complexion will be bettered.

Price ¥ .40

肌膚を柔軟にし色艶を麗しくする芳香健膚藥

ミツワ雪の雫

定價 金四拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

主効

皮膚を強健清潔ならしめ、皮膚乾燥、皮膚剝脫、皮膚皸裂、皮膚龜裂、凍傷、火傷、乳嘴の小傷、擦過傷、雀卵斑、脂漏、痤瘡、毛瘡、濕疹、頭垢、粃糠疹、白癬、蕁麻疹に効を奏す

本劑は芳香馥郁たる健膚藥で、皮膚を包み擦つて寒い風の如き外から來る刺戟を和げるから、皮膚乾燥、皸裂、龜裂、凍傷を治し

▲皮膚を柔軟滑澤にし 皮膚から出る脂肪を除き尚其の分泌を調節し、皮膚に出るのを止めるから、皮脂漏や痤瘡に良効を奏し、皮膚の組織を緊めて緻密にし即ち

▲肌理を細かくし 新しい皮膚をつくるから、皮膚剝脫、擦過傷、火傷、乳嘴の小傷に効き、皮膚に居る黴菌を殺し其の發育を抑へるから、白癬の類を癒し尚皮膚の血行を良くして

▲皮膚の色艶を麗しくし 雀卵斑、毛瘡、濕疹などにも効驗があつて、皮膚を丈夫に清潔にするもの故、平生朝夕の身嗜みにも用ひられるのである。

◆肌膚を整へる藥液

美しい上にも美しく化粧するのは誰しも望むことですが、唯紅や白粉を塗つたばかりでは眞の美は得られません、何でも土臺が肝腎ですが化粧も同じく、平素から土臺の肌膚を整へるのが大切であります。それには[illegible]日本人の肌膚に適つてゐるミツワ石鹼を使ふことに定めて、肌膚の汚垢を落としてから、ミツワ雪の雫を手に滴らし[illegible]摺込むやうに[illegible]肌膚が整へられ[illegible]小皺を防ぎます。[illegible]化粧が出來ます。[illegible]なりません。

尼崎汽船出帆 [illegible]

共同汽船出帆 [illegible]

日本郵船出帆 大連、太沽、牛莊行 濟州丸 高砂丸 相模丸 [illegible] 仁川海岸町一丁目 [illegible]

五光商會汽船出帆廣告 [illegible]

朝鮮郵船出帆 [illegible]

[illegible] 其他各寄港地

[illegible] 京城南大門通 [illegible]

京城日報

（年中無休刊）

定價 一部金四錢▲郵稅金拾五錢 壹ヶ月前金壹圓五錢▲三ヶ月同三圓▲六ヶ月同六圓▲一ヶ年同拾貳圓▲郵券代用一割增
廣告料 五號十四字詰一行一圓五錢 別二圓▲二號七字詰同二圓▲特號八字詰同二圓▲四號九字詰同五十錢▲六號十六字詰金一圓

發行所 京城大平通一丁目 合資會社京城日報社
編輯兼發行人 與田直衞
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九番 一長六千九番二 振替京城三〇〇番

京城日報

有識無產階級救濟の急務

嘗て英國の一小說家が八十何萬年後の世界を想像して描き出したるものを讀んだことがある。此の想像の後の時代には、勞働階級の者は土蜘蛛同樣の姿となつて地中に勞作し、而して資本階級の者は一體に雛人形の樣なものとなつて、金殿玉樓に起臥して居るが、それは彼の土蜘蛛のために飼養せられて居るので、片端から彼等の食料に供せられるのであつた。此の如き想像は隨分極端に走つて居るが、今の歐羅巴の形勢は稍さういふ傾向を現してゐないこともいへない。寧ろ歐羅巴には資本階級と勞働階級の兩者で國民を二分し、其間に中產階級といふものがない。而して此の兩者は恰も源平兩黨の如く、常に抗敵態度を繼續し殆ど永久に融和すべき望みがない。幸ひに資本家と勞働者との間に協調が保持されて居る間は社會は一時の小康を得るが、一旦其の協調が破れた場合には、國家國民の將來などは毫頭念慮せらるゝことなく、社會は大混亂に陷るのである。現に露米二國に於ける大規模の同盟罷業の如き、眼前の好例證といはねばならぬ。此の兩者間の爭鬪が嵩じて、國家の力が能く之を制御し得ず、大破壞大變動を現じたる場合には、どういふ有樣となるかといふに、現在の露西亞の狀態は、最も雄辯に之を證明して居るものである。仕合にも我國の如きは其の國民の大體が沈着の氣風を帶び、又利害の打算に敏なるがために、未だ曾て露國の如き危險に瀕せざるも、勢の趨く所、如何なる變化を來し、如何なる破天荒の事例を開かぬとも限らぬ。是れ獨り我國のみならず、佛米其他の諸國も皆同一傾向の下に在るものと見るべきで、其の小康狀態を維持しつゝあるものも、畢竟休火山上に散步するに過ぎぬ。歐米に於ける勞働問題が、常に政治的に社會的に其の中心となつて居るのは之がためである。

我邦も亦貧富の懸隔が追々大になり、資本家と勞働者との色彩が頗る鮮明になり、從つて政治論社會論の中心が勞働問題に向つて集注せられる有樣を呈して來た。殊に國際勞働會議の刺戟を受けてから、俄然として勞働界の氣息を强くし加ふるに物價の騰貴等が開闢以來の驚[illegible]を示したるより、それが勞働階級と結び合ひ、同盟罷業、同[illegible]などといふ舶來仕込の對[illegible]戰が隨處に勃發するといふ現[illegible]となつた。而してこゝに最も驚くべきは從來中產階級（國民中の知識階級）が殆ど網羅した[illegible]と稱し、國民の中堅となつて政治上はた社會上に活動したものが漸々に消滅し去るの傾向を生じたことである。是は無論經濟界の亂調なる調子に打擊せられたるもので、世上に腰弁勞働者なる新語の流行し來れるに徵しても、今や此階級の全く墮落の淵に臨んで居ることが分明である。此の中產階級即ち現在所謂有識無產の階級を全く勞働階級に投合せしめた曉には、日本の國家、日本の社會がどういふ風に激變するだらうといふことを想像すると、實に寒心に堪へぬものがある。

現在の有識無產の階級が、如何に悲慘の狀態に在るかといふことに就いて冗言を費すは寧ろ愚である。それは眼前の事實で何人の眼にも映じて居ることである。之を救濟するには[illegible]言ながら物價を調節し、生活の安定を圖るより外に何等の方策もないのである。然るに政府當局者側にては、案外にも甚だ冷淡にして、吾人が考ふるほど重大視して居らぬ樣樣のあるのは遺憾の外ない。政府の代辯者はいふ、國民の中產階級即ち現今生活難を唱へつゝあるものは、全國民の六分の一に當らず、此の少數の爲に、他の六分の五の大多數の利益を犧牲にすることは顧慮して爲し得る所でないと。さも有理らしき理窟を並べて居るが、此の間短なる言葉の中に、一つの大きな誤謬を含んで居る即ち『大多數の利益を奪ふ』といふこゝで、奪ふといへば如何にも強く且つ不正のことに聞ゆるが、是は宜しく『減ず』と訂正すべきものである。元來國民は相互に同胞で、不幸を救ふがために其利益を減ずるは普通の情誼であつて、何も珍らしきことでない。而して國家は其れ自身の生存發達のために、國民各自の利益に對し、之を犧牲に供せしむるは、當然の權力で、若し之に對して否を唱ふるものであらば、國家の根柢を破壞するものである。今夫少數國民即ち所謂有識無產階級を救濟することは、國家が此の階級に對して敢て私惠を賣るにあらず、國家自身の健全なる存立を持續せんが爲に[illegible]手段に外ならざる[illegible]何人が故障を唱ふるも[illegible]して毫も差支ないもの[illegible]加ふるに多數者の犧牲[illegible]も、利益を奪ふといふほ[illegible]したものにあらずして、實に其の不當利得を差止めることいふぐらゐのものに過ぎないのである。それを躊躇して、何時までも資本家營利欲求者の歡心を買はば或は恐る我邦も亦歐羅巴式惡潮流に陷るなきを保せざることを。現に昨今流行する勞働問題の如きも、勞働者の自覺より出でたるものは甚だ稀にして、大抵は有識無產階級の或者が、爲にする所あつての所業と判明して居る。此勢ひを馴致したのは、いふまでもなく物價の騰貴を動機として、心理狀態に著大の變化を與へたからである。爲政者たるもの深く考慮しなければ、取返しのつかぬ運り合せとならうも知れぬ。

生別死別

日不許轉載複寫

服部硯月

第十三 意外

『旦那、些少お召上りませんね、一つ僕が驕きませう』

『いや醉ッちまつたよ、君にや叶はん、僕ばかし苛めないで俳優のお客樣にもちと酌いだらどうぜ』

『だつても、貴郎は飲ける口なんですもの、貴郎が召し上らないと顏が無いわよ』

『此奴め、頻に僕を苛めるぢやないか、ねえ佐野君、僕は大層頂戴した、又斯う云ふ強敵を僕に差向けるなんて君もなか〳〵隅に置けんね』

『いや東京は一向勝手が分りませず、貴郎のお顏馴染の所ですと一層面白かつたかも知れませんが、オイ姐さん、何とか云つたツけね、お芳さんか、此方はお酌が惡いので召上られんさうだ』

『おやさう、旦那、貴郎が召上らないもんですから僕の方まで風向きが惡くなつたぢやないのさ。締かり召し上れ』

『さう僕ばかり苛めないで呉れ、お芳さんに一つ差さう、時に佐野君、初めて會つて此座に頂戴しては……』

『どう致しまして、愈々開店の曉には又改めて御披露致します、今日はほんのお近づきの印だけです。時に貴郎は以前何方の方にいらツしやいました、矢張すうツと今の處に……』

『いや僕は今の處は餘り長くはありません、其の以前には又新潟に居りました』

『へゝ、又新潟？又新潟と云へば教科書事件では隨分騷ぎましたね、仙臺の方でも大分引上げられました、惡い事は出來ません、天網恢々疎にして漏さずですね』

『まア其麽ものだらうね』

『ところが、隨分世間の噂では天の網にも破綻があるが、しこたませしめた者で巧い具合に逃れたものがあらうツてぢやありませんか、貴郎方から御覽なすつたら、一層能くお分りでせう？』

『そ……やあるね、併し何も此方から態々出掛けて、殊更罪人を拵へるにも及ばんからな』

『さうですか……まア一つ、姐さん溫いぢやないか、熱いのを持つてお出で！』

佐野と稱する客が藝者に眼配せした、藝者は空いだ銚子を手に、女中を促して一緒に階段の[illegible]に出た、とん〳〵階段を降りる音。

佐野とは假の名で實は老探偵の井上である。仙臺の商人といふ觸れ込で書店開業を口實に恰も地方から恒田を誘ひ出した。藝妓、女將に旨を含め、最も座持ちの巧みな芳と云ふ藝者を選定し、譯の解らぬ井上に代つて恒田を款待さしたのである。恒田も平素から飲ける口なり、相當に醉が廻つた。

程なく女中が熱燗を持つて來た。

『お芳さんは？』

恒田への義理に井上が問ふた

『姐さんはお帳場に一寸御用がおありなさいます、直見ゆるでせう』

斯う云ひつゝ女中は銚子を置いたなり下つた。最前の井上の眼配せは委細お芳が胸に納めた仕打ちである

『仕方がないなア、偶にやア男酌も可いでせう、お一つ』

『有難う』

『時に彼の文部省の砥上とやら云ふ人ですね、彼なんかも千慮確證を握つてゐるけれど、巧い具合に免訴になつたものだと仰有る方では專ら風評です』

『彼は實際旨く逃れたね』

井上には茲が捕捉へ所であるのだ。

『仍且風評の通なんでせうか』

『あれは其の當時僕が贈つたのだ僕が贈つたと云つても僕の命ではなく僕は唯取次いだゞけで詞は『御使者も同じだ』

是は又意外であつた。

冒險世界特別號
空中征服
佛國航空隊 名譽の四戰士 ジ・ヘーフォール
◎僕が太平洋を橫斷するとしたら 川上、佐藤、水田、伊藤、高左右の民間飛行家
予が決行せんとする太平洋橫斷飛行 機部海軍機關少佐
肉彈戰より空中戰 井上陸軍航空部長
西伯利出征 航空隊惡戰記 武宮中尉
羅馬から東京へ ダヌンチオの伊日連絡大飛行
飛行機の征服すべき世界の秘密境 橫田學士
富貴顏豐富
冒險飛行物語
・高度盡きて墜落の刹那 武田（營）中尉
・僕一流の冒勇飛行 [illegible]田中尉
・空中で猛火に包まる 武田（天）中尉
・機體が風車のやうに 瀨戸大尉
・雲中で迷兒 水島中尉
・此男捕虜に致し申候 長尾中尉
・列車と飛行機を分捕る 永淵大尉
・敵艦目掛けて爆彈を 濱田大尉
特別附錄飛行小說
◎空界征服の秋 大隈侯
◎空中の栗毛 [illegible]
◎小說北海の奇男兒 佐水
◎小說金鵄勳 白雨
・あの死かこの死か？ 北尾龜男
・獨探飛行家の隱れ家 小泉花水
・誰の捕虜？ 三澤劉水
・空中の復讐 岡本破風
陸海飛行將校民間飛行家、同搭乘者 一同一致表
定價五拾錢 東京市本石町 博文館

新築開業廣告
謹啓初秋の候各位益々御清祥の段奉慶賀候陳者弊所儀豫而黃金町三丁目に新築中の處今回愈々落成を告げ同所に於て印刷業を開始仕候尤も弊所の專門とする所は石版にして熟練せる職工を聘し精巧なる器械を購入し誠實を旨とし親切叮嚀に御用命に應じ可申候に付多少に拘らず御注文の程伏して奉懇願候 敬具
石版各種印刷
京城黃金町三丁目三百四番地
三英社印刷所
電話二八七六番 振替京城七一五三番
此際地方特約店を募集す御希望の方は御照會被下度精々御便利に御相談可致候

新時代
言論界の權威 雜誌中の雜誌
十月號 一冊一圓
日本民族的理想思潮 時代大觀 中產階級 信仰の矢叫び 二科展を見る 國責む外交上の大失敗 失敗などは誣ふるも亦甚だし 新聞欄 讀賣新聞の變革 時事新報 中央新聞 每夕新聞の騷 稅制整理の要諦 時代の要求と稅制整理 末日 弱い心 俳壇 舊人 人物論 賴倫侯
東京芝區 新時代社

當選御禮廣告
今回仁川商業會議所評議員補缺選擧に際し深く各位の御同情を蒙り當選致し候段深く奉感謝候 [illegible] 不取敢紙上を以て御禮申上候（いろは順）
今村覺次郎 日本精油株式會社 朝鮮物產株式會社 張世益 沈能德 力武嘉次郎 川井田盟二郎 吉田秀次郎 大阪商船會社仁川支店 矢上丑之助 丁致國 坂倉伊平 北島俗三 白神專一 美濃谷榮次郎 平山松太郎 朱命基 朱明瑞

公告
一、東大門公立尋常小學校々舍其他增築工事 右入札ハ十月六日午前十一時ヘ札希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ
京城學校組合

御陸軍御用達 洋服外套オーバ羅紗地 各種製品 京城黃金町三丁目角 電話 星谷廣藏 滿洲西比利亞御用部 廣振洋行
質 流 マント トンビ オーバ外套 絹及黑詰襟服 背廣三ツ揃 茶コール天詰襟 バンド付運動服
新時代の要求に生れた ▲經濟の親玉 顧客の利益

金融組合登記公告
興水院金融組合理事平三右衛門ハ大正八年九月拾參日解任シ同日黃海道瑞興郡木甘面興水里四百當番地吉崎聰七郎理事ヲ命セラレ就職ス
右大正八年九月參拾日登記
海州地方法院瑞興支廳

謹告
秋冷之候各位益々御清榮奉慶賀候陳者聯合會協義ノ上直揚實行ト同時ニ當組合ハ品質ノ向上ヲ計ル目的ヲ以テ組合ニ於テ左記ノ等級記號ヲ附シ直段一定致シ候間舊倍御愛顧之程奉願上候也
壹等品 特製 大樽廿三圓 小樽六圓七十錢
貳等品 松印 大樽廿一圓 小樽六圓二十錢
參等品 竹印 大樽十九圓 小樽五圓七十錢
四等品 梅印 大樽十七圓 小樽五圓二十錢
大正八年拾月一日
京城醬油釀造組合

SSS
サンエス萬年筆 定價改正に付謹告
曾て東洋一と稱せられたるサンエス萬年筆は今や世界的優品として海外諸市場にも歡迎さるゝに至り候は偏に顧客諸彥の賜と深く感銘罷在候然るに今春より物價の連續的昂騰及び工賃の引上等免れ能はざる經濟上の影響に餘儀なくせられ不本意乍ら十月一日より下記の如く定價を改正仕候サンエスは常に材料工作ともに最善を悉し而して能ふ限り低廉の價を附し居候は夙に江湖の認め給ふ處今回の事は時勢の已むを得ざる儀と御承知下され倍舊の御愛用を賜はり度茲に謹告仕候
品目及定價
特別一號 金貳圓四拾錢 □六號 金參圓八拾錢 □十五號 金五圓
同二號 金貳圓八拾錢 □七號 金四圓 □廿五號 金四圓
同三號 金參圓五拾錢 □八號 金四圓 □卅七號 金五圓
同四號 金貳圓五拾錢 □九號 金四圓五拾錢 □四一號 金參圓八拾錢
四二號 金四圓八拾錢
大正八年十月一日
サンエス萬年筆本舖 細沼淺四郎
關西代理店 大阪瓦町 澤井幸助商店

最新淋病藥
コロクノール
純國產にして品質効力輸入藥に勝る
從來內服藥に於て醫界に疑問とせられたる淋菌殺滅力に本品が確實に具有することは楠醫學博士の實驗により保證せらる
關西代理店 大阪市東區道修町二丁目 藤澤友吉商店
關東代理店 東京市日本橋區本町四丁目 藤澤友吉支店
中央製藥合資會社製造

御婚禮頸飾品
半ゑり地大賣出し
十月一日より五日間
京城本町貳丁目
日の丸小間物店

最新刊
譯國語大辭典 朝鮮大地圖 結婚期 [illegible]
京城本町一丁目 大阪屋號書店
法人登記公告 抱川金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス [illegible] 京城地方法院抱川出張所
店員募集 食料品 龍山鐵道構內 中崎宇吉商店
京日案內
御袴專門 京城本町四 山崎袴店
毛皮なめし並に仕立 京城本町二
轉居と電話架設 北村友一郎
西洋料理すき燒 中華料理
高級外務員招聘 太平生命
金融 大和屋
電話讓物
外務社員採用 八千代生命
電話賣物
鮮語科 英語科

全英國動搖

鐵道從業員の同盟罷業に對して

倫敦來電＝英國政府と鐵道從業員との間の交渉斷絶せる結果國內産業の停止と運輸交通の痲痺とは全英國を風靡し國民一般は右罷業に反對の態度に出でつゝあるも今や人心は著しく動搖を來し居れりと（紐育電報）

影響したる米國

米國に於て未曾有の鐵道罷業勃發せりとの報道は既に鋼鐵工の罷業に脅威されつゝある全米を震駭せしめたり（紐育電報）

無政府主義陰謀

英國首相曰く罷業指導者は其の目的賃銀値上げに非ずして無政府主義的陰謀にありと聲明せり（倫敦電報）

罷業と航行禁止

米國商業船舶司にては倫敦に於ける鐵道罷業のため英國港灣との間に於ける汽船の航行を禁止したり（香港電報）

英工場炭坑閉鎖

英國は鐵道罷業の爲め多數の工場炭坑は閉鎖せり（倫敦電報）

諸工塲運轉停止

大罷業の爲倫敦各工場の運轉停止され市中暗澹たり（倫敦電報）

伊國議會の混亂

代議院の首相信認投票の場合

伊太利代議院にて首相ニッチ氏の信認投票に移らや議場不穩となり代議士十名鐵拳を揮つて格鬪を開始し爲めに議事を中止するに至れり（羅馬電報）

過激派中の獨人

多數の獨逸將校と兩都の聯絡

過激派中に多數の獨逸參謀將校混入せるのみならず伯林、ペトログラード、莫斯科間には直接郵便の連絡をもなし得る有樣にて獨逸商人は露都にて商賣をなしつゝあり（伯林電報）

獨逸戒嚴令布行

伯林來電＝エーベルト大統領は國內の反政府黨を取締るべく近く戒嚴令を布く筈にて右はスパルタカス團に對して一大痛棒を喰はさんとするものなり（倫敦電報）

日英同盟改訂說

日英同盟は目下倫敦に於て改訂中なりとの說傳へらる（倫敦電報）

ガ將軍逮捕說

オムスク政府はガイダ將軍逮捕の命令を發せり（哈爾賓）
ガイダ將軍は逮捕せられたりとの報あり（同上）

巴爾幹に戰爭

フューメ問題の爲巴爾幹半島に戰爭起らんとする形勢あり（巴里電報）

勞働委員經費

我邦派遣の勞働委員經費は七十[illegible]閣議に於て決定せり（東京電報）

フ將軍の要求

ノオッシュ元帥は獨軍の撤退を強要したり（巴里電報）

北露の各政府

北露各政府は其獨立承認を講和會議に要求せり（倫敦電報）

獨兵撤退要求

最高會議はリスアニアより獨兵撤退を要求せり（倫敦電報）

西伯利出征軍

我騎兵隊の一部敵の奇襲を受く

陸軍省發表＝騎兵第十八聯隊は九月二十七日エカテリノスラフカ附近にて三百名の敵伏兵の襲擊を受け奮戰擊退せるが騎兵中尉笹村遊虎氏戰死したり負傷者六十五名を出だせり（東京特電）

（附記）笹村騎兵中尉は高知縣の人大正四年十二月少尉となり同七年中尉に昇進したる人なり、享年二十有五歲

會計法改正案

[illegible]

滿鐵增資案起案

滿鐵增資案は大藏省と協議の結果の諒解を得本月中旬歸京の水野社長を待受けて確定する筈にて目下具體的成案の起草中なるが十月五日頃迄には脫稿すべく會社より增資案を申達するは十月二十五日頃なるべしと（東京特電）

大藏省判任官の同盟決議文

大藏省判任官は同盟して十一月一日より俸給十割引上の決議文を大藏大臣の手許に提出したり（東京特電）

官等全廢の議

樞密院に於て目下審議中なる文官任用改正令は勅任以上の官等全部を廢止し人材登用の道を拓くべしと（東京電報）

新聞法改正案

新聞紙法改正案は來議會に提出さるべし（東京電報）

日銀帳尻

三十日に於る日本銀行帳尻左の如し（東京電報）

發行高	一、一七一、七四九
正貨準備	七九三、六四一
保證外發行	二六〇、一〇七
貸出高	四三一、〇八〇

鮑督軍辭意なし

鮑督軍の辭任說は傳任說と共に北京其の他の方面より傳へられつゝあるも鮑督軍は吉林に入りてより再び黑龍に歸任するを好まず又絕對に辭任の意無きものなれば幷は要するに支那一流の謠言に過ぎざらんのなりと（奉天特電）

三省統一と打合

張作霖氏は愈々多年の宿望たる東三省統一を完うしたるを以て近く吉林方面視察の途に就く筈なりしを取止め鮑吉林督軍及び孫黑龍督軍を奉天に招致し統一上に關する種々の打合せを爲すべき豫定なるが未だ兩督軍の來奉期日は確定せず（奉天特電）

師團長宮殿下

梨本師團長宮殿下には二日鐵嶺に成らせられ三日[illegible]四日廿五分發列車にて御歸任の御豫定なりと承る（奉天特電）

尾藤司令官

守備隊司令官尾藤閣下は[illegible]の爲め一日午後九時三十分鄭家屯より來奉直ちに十時發にて山海關へ出發せり（奉天特電）

駐日佛國大使

駐日佛國大使バッスト氏は六日北京發七日午後七時十分來奉其夜安奉線列車にて朝鮮經由東京に向ふ筈（奉天特電）

佛國政務官

西伯利駐劄佛國政府高等政務官マッテル氏二日午後四時五分來奉大和ホテルに一泊し三日午前十時四十分發安奉線列車にて北京へ向ふ（奉天特電）

セミヨノフ夫人一行

セミヨノフ將軍夫人一行八名二日午後六時半來奉都ホテルにて小憩し同所に待合せたるセミヨノフ將軍部下のフナシヨフ中佐等と共に長春に向け九時五十五分發にて北行せり（奉天特電）

オ政府供給大臣

奉天經由北京方面に向ひたるオムスク政府供給大臣エルルカトウロフ井モフ氏は十三日歸奉の豫定なり（奉天特電）

旱害救濟の對策（二）

總督府殖産局長　西村保吉氏談

朝鮮の旱害の救濟に就ては自ら朝鮮の特殊の事情に鑑みて成るべく各地方に於て夫々其の地方の實際に適應する便宜の方法を活用せしむるやうに努めなければならない、聞く處に依ると朝鮮の從往に於ける救濟方法としては（一）或は罹災地に對する小作米を減免し（二）或は賑恤米の方法に依つて各面に於て穀物の現物を被害民に貸付し（三）或は亦地主が主として小作人を保護し（四）或は飮酒其他の遊興を禁止し（五）或は亦地方的に穀物の輸出を禁止し同じ郡內同じ面內に於て

彼此融通

する等の習慣がある就中地主は出來る限り自ら其小作人の保護に任じ夫が爲に地主は常に凶作の準備として相當の穀物の貯藏する事に努めて居たやうな美風もあつたのである依て委員會に於ては大體に於て朝鮮に於ける右等特種の習慣や情等を參酌し先づ第一に地主の小作人に對する保護といふ事は最も重きを置いた次第である即ち從來に於ても地主は凶年の場合に於て最も力を小作人の保護に致したといふ事實もあるし殊に最近數年間は所謂豐年打續いて地主の農家が比較的に暖かくもあつて相當の餘力があることは何人も想像に苦しまないことでもあり又斯くの如き凶年といふ樣なことは年々あるべきでもないからしてかゝる不時の困難に際し地主が進んで小作人を救濟するといふことは當然のことでもある故に旱害の

救濟手段

を講ずるに當つては先づ第一に地主が率先して出來得る限り小作人の保護に努めることゝ即ち地主に於て極力自營的救濟の手段を講ずるといふことは旱害救濟策の第一の要諦である本救濟の方法としては各地方の地主が互に協力して（一）或は自己の所有する貯穀を小作人に貸付け（二）又は自己の資金を融通し若し金不足の場合に於ては低利の資金を借入れ之を融通し翌年以後の收穫を以て償還せしむるといふが如き方法に依つて出來る限り小作人を救護しなければならぬ、唯此に一の常に注意しなければならぬことは地主が右等の場合に於て乘じて小作人より不當の利息を徵收すべからざることであるこの點は當局も地主も十分に考慮しなければならぬ

英米製鋼能力

戰後の産額

歐洲大戰の結果英米兩國に於ける鋼材の需額に著しき變化を來したり即ち戰時中英國に於ける製鋼能力の發展は五十パーセント以上に達すべしと傳へられしなるが千九百十八年の實績に徵するに同年中に於ける鋼材の全産額は九百五十九萬一千四百二十八噸にして

産額の最高

記錄は千九百十七年の九百七十五萬二千三百二十八噸なり之れを戰前に於ける最高記錄たる千九百十三年の七百六十六萬三千八百七十六噸に比較すれば正に增加二十五パーセントを示すに過ぎず然るに米國に於ては千九百十三年の産額と千九百十七年の産額とを比較するに四十パーセント以上の增加を示し而して現時に於ける世界の鋼能力は日獨墺及び佛蘭西が平和に回復し更に露國が平和に歸して以前の如く五百萬噸を製出するものと假定すれば一箇年約

九千八百萬

噸內外と假定し得べく內英國の製鋼能力は全能力を擧げて一箇年千二百萬噸を超過すること困難なるに反し米國の製鋼能力は一箇年四千九百萬噸乃至五千萬噸にして前戰に於ても既に世界の鋼の全産額の四十二パーセントを占め居たる程なれば今後に於ては其五十パーセント以上を占むるに至るべし次に製鋼の種類に於ても亦著しき變化を來した即ち英國に於ては酸性鋼の産額は其礦石を多く輸入に仰ぐに拘らず戰前の産額に全ベセマー及び平爐鋼の五十パーセントを占めたり然るに戰爭の結果多く

內地産礦石

を使用するに至りたる爲め多くの平爐は酸性より鹽基性に變ぜられつゝありて酸性鋼の産額は千九百十八年に於ては全ベセマー及び平爐に對し約四十パーセントに減少したるに反し電爐の使用は增加し電氣に因る鋼塊及び鑄鋼産額は千九百十五年に二萬二千噸なりしものが千九百十八年に十五萬二千九百二十二噸約七倍に增加せり米國に於ける鹽基性鋼産額は千九百十七年に於て全ベセマー及び平爐鋼の約七十二パーセントにして電氣爐の使用は英國に於けるよりも更に大なる增加を來し電氣に因る鋼の産額は千九百[illegible]年の六萬九千四百十二噸より千九百十七年の三十萬四千五百四十三噸に增加し千九百十八年には少くとも六十萬噸を[illegible]

滿鮮片々

郡廳燒跡の人骨

過般燒失した麗水郡廳の跡は目下片付け中であるが郡守官舍は元の突であつたのを修繕の際に掘り返したものであつたが該突の下から今回大人の頭骨と大腿骨とが發見され一時は大騷ぎであつたがそれは死後數百年を經過した者であると知れ一安心（麗水）

全南棉花入札

全南各郡の棉花入札は九月二十九日其の第一回を執行する筈であつたが道廳の準備整はざるため各郡共二日間延期し一日午前十一時執行二日より販賣を開始することゝなつた（木浦）

取引所委員會

群山の米豆取引所設立委員會は[illegible]

全北虎疫猖獗

全北各郡の虎疫は日を逐ふて蔓延し廿九日朝までに患者[illegible]內四十一名死亡したるが內地人の患者は六名で其の府郡別は扶安三十一名全州三十八名沃溝二十八名益山三名井邑一名群山五名高敞一名である（全州）

全州米檢出願

全州米穀組合では今回全州に米穀檢查所設置に關し道廳に請願書を提出したがその理由は從來全州米穀商の移出しつゝある米穀の檢查は參禮まで搬出し參禮に於て檢查を受けてゐたがかくては受檢の際面倒であり且商機を逸するからと云ふのである（全州）

全南警察數

近く完成すべき全羅南道の新設警察は從來の十箇所の外に道警部の廢止により新設さるゝ十一箇所の外自つて實現すべき事となり之れが警官並に代員數は總員一千三百三十三名となる（光州）

全南林野調査

全南に於ける林野調査は大正六年度より實際に着手し來る十年度限り之れを完了する豫定であるが目下大部分の整理を遂げ外業員三名は務安高興麗水に配置し從業してゐるが尙ほ今後調查すべき地域は光陽谷城求禮順天莞島珍島等である（光州）

關門海峽隧道

先づ三十尺位て

京都帝大教授工學博士田邊朔郎氏は下關に來り彥島村に於ける關門海峽隧道工事調査の爲作業中なるダイヤモンド、ボーリングの實況を視察し山陽ホテルに一泊廿日朝關門に赴き午後下關へ引返し七時十分發列車にて歸洛せしが氏は曰く

水底に隧道を穿つことは近年に始まつたことではないが然し成功疑ひなく確實に出來るやうになつたのは最近十餘年の出來事である即ち千九百八年に於て始めて可能といふことになつたのである此の鐵道の式は種々あるがこの關門間のは

壓縮空氣式

と云ふので之が適當した式であらう壓搾空氣式は何ういふものかを說明するも餘りに學術的になるから只其の式によると目下事をしつゝある地點試驗の上につき少しく述べて見よう關門海峽の海底は割合に深淺の變化少く底の岩層は主として紛岩、（ホンレッソド、グランド）で隧道を作り得べき場所であり本線は下關市の西北より聯絡鐵道線に小岐し小瀨戶を橋で超えて彥島に渡り海峽附近は一哩位の隧道を以て九州の聯絡鐵道に至るものである此線は工事前一つの路線であるが此線の外に三つの線を定めこの三線のうち何れが一番工事が

容易に行くかを

調査する其の調査が今日やつて居るダイヤモンド、ボーリングでボーリングは大分進捗し本年中には全部終了を豫定であるが之により地質を知り何の線が一番いゝか決定し夫から始めて大體の隧道の地が極るので來年になつたら何の線が一番適當であるかも分る夫で今日の所海底線の延長は

六哩なるか

或は七哩となるかも分らぬが此の工事はなかなか容易ではないのである此線に隧道を作るには裸掘りでも出來ないことはないが水底百尺の處を通過させなければ安全とは云へないので島及海岸に竪坑を掘り之に底から隧道の築造用の横坑を入れこれを先に立てて鐵管を押へ込み漸次管式の隧道を組立るのであるが間を三十間、すれば工事中も安全である海底を浚渫しても大丈夫である昨日內務省の[illegible]の深さで何等海底工事に差支なくボーリングにも支障ないことは[illegible]

水底と陸道との

[illegible]

工と其年齡

この工事に從事する職工は壓縮空氣式によるので健康でないと働けぬ爲十五歲以上五十歲以下と云ふ制限された[illegible]人小供では第一健康が許さないのである（下關）

依然積極方針

朝鮮銀行當局の談

朝鮮銀行に於て開會中なりし支店長會議の結果につき同行某當局は語る　會議は例により現在に於ける業務の協議諮問を主とせしものにて格別取立て申す程の事もなきが各地に於て實務に當れる支店長の集合は

行務運用上

に多くの好材料を與へたり一例を擧ぐれば銀價と鮮銀の騰落の如き鮮內としては痛痒を感ずる事少からざるがその結果下の所見は支店長の意見を具に聞く事に於て本店當局の所見に訂正を要する點の差なければ更に口頭にて委曲を聽取し銀行の方針決定上に參考となりし事も少からざりき之の店長會合の結果鮮銀今後の營業方針は今日宣明して差支なしと思ふが要するに將來當行としては依然積極主義を以て財界に臨むべし唯その積極主義たる物價今日の如く昂騰し

金融の前途

大勢緊縮の狀態にあり更に勞働問題の不安物資需給狀態の變化に於いて測られざる等の事情あるに於いて既往の如き積極主義とは稍變化せざるべからざるものならん財界は急激に膨脹し通貨の增大は事業の勃興となり居れるため資金の需要は益々增加せんとする狀態にあれど財界今後の變化に思ひを致さば相當程度の警戒を要すべしと考へらる朝鮮に於ける被害の程度は各方面の所見略一致し相當對策も講ぜられつゝある模樣なるが

滿洲の旱害

は作柄に於て之れを前年に比し可なりの色ある模樣なり但し本年は滿鐵當局に於いて運賃の改制提供の改善等により輸送能力を增加し滯貨を少からしむる方針の如ければ昨年の如き特産物の滯貨の爲山積して商人の困を感ぜしに反し本年は作況減收となるにせよ結局の出廻りは良好なるやも圖り難く金融上には反つて好結果を現はすやも圖り難き如し云々

戰鬪射擊終了

目下平康の高原に於て施行中の山野砲兵隊の戰鬪射擊は四日を以て終了し五日同地滯在六日出發途中二泊の豫定にて八日歸營すべしと

水野總監近什

水野政務總監頃日此經氏の新吟に對し左の次韻を爲せりと

其一　謝香堂閣盥龍招　此經青浦

正是雞林多事秋、蒲招亦不成風流、雄圖何日克奏功、聖澤洋々周八州、

次此經君玉韻　水野香堂

其一

白首倦遊已十秋、南山依舊翠嵯峨、休言韓海風塵惡、月色清光照八州、

其二

盧日宴紅一望秋、雞林秋色亦風流、一天明月無私照、萬里清光照八州、

辭令（十月一日附）

任京城高等普通學校敎諭（七等）　京城高等普通學校敎諭　橫地捨次郎

人事消息

▲諏訪小熊氏（釜船大監）二日夜釜山上陸同十一時發列車にて北行（釜山特電）
▲城崎彥藏氏（滿鐵販賣課長）同上
▲森賀太郎氏（土木局平壤出張所長）二日夜入城龍山へ
▲野口耕一氏（土木局元山出張所長）二日夜入城同上
▲大池忠助氏（釜山商業會議所會頭）二日仁川より入城巴城館へ
▲亥角仲藏氏（全羅南道知事）三日朝退城光州へ
▲大山師團法官部長　南鮮より二日朝歸城
▲橋正雄氏（師團動軸部附大尉）同縣下狀況視察の爲め三日忠清北地方に出張
▲山田潤二氏（滿鐵外事課長）上京の途二日來城
▲中村正一氏（滿鐵電話工兵大佐）來城中の處二日夜發歸連の豫定
▲高橋鈴一氏（軍司令部附工兵大尉）兵要地理資料調査の爲め晉州統營馬山地方に三日出張

鳥瞰錄

新任全羅南道知事として一日入城した亥角仲藏君は縣澤から居氏の令弟で漢學の造詣淺からず殊に詩文に長じてゐる▲漢學の如きは優に一方の重鎭たるだけの素質があるが虛名は嫌ひ可厭さに徹底し深く藏して發表しないさうだ▲元警務總長の時代に課長として京城に居た人と共に果斷家に從いて[illegible]今や一家を爲してゐる大人[illegible]書記は夫れ良く似てゐるが更に一段と風格があつて歷代中の一異彩であると云ふ▲田中城朝長が謹直な事は從來以上より噂が高かつたが其の謹直の剛として毎朝齋戒沐浴して皇大神宮に禮拜するのである▲非常な敬神家で手帳中には一家に事がある毎に伊勢大廟に詣でて報告するそして必ずお守を頂いて來る▲今や其のお守札は神棚に二十八體あるさうだ▲愛兒が幼年學校に入學した時は職務の都合で伊勢大廟に參詣が出來なかつたので愛兒を代りに參拜せしめた事もある▲將曰く『子供を修養に出した以上は父母の膝下で任意の教育を施す事は出來ぬ▲社會は複雜であるから如何に意志が鞏固であつても誘惑に敗けまいものでもない成業を全うするには天佑に待つ處が多い此の點に於て子供を伊勢の御大廟に參詣させたのである』斯うした父をもつた子供は幸福と云はねばならぬ

下關期米特電
[illegible]

大阪株式
商船　一七六、四〇　[illegible]

大阪期米特電
[illegible]

神戸期米特電
[illegible]

專賣特許　不知火
不知火は在來の湯沸[illegible]便利な物でなく旅行や不時の來客其他火急の場合非常に御重寶即時に湯が沸き御飯も出來も徳用で便利なる事世既に定評あり是非御試用を乞ふ
定價　家庭用　一號　旅行用　同　二號　同　三號　溫乳器付　小包料
京城日報代理部　振替京城三〇〇番

名刺　京城長谷川町　中田　電話　振替

服制改正　既製冬服　大特賣
高等仕入洋服澤山持合せあり
二ツ揃背廣　詰襟　オーバー　長トンビ　大人引廻　子供引廻　本セル袴　吾妻コート　羅紗小倉厚司　平ズボン　二枚綴毛布　洋服附屬品一式　メリヤス雜貨各種
右多物全部荷揃申候間御用命の程願上候
洋服雜貨商　八木權商店　京城本町一丁目

農業世界　十月號　定價廿五錢　郵稅一錢半
大日本主義と植民政策　上泉中將
農村青年諸君に警告す　稻垣博士
代用食物馬鈴薯改良增收法　野中農學士
園藝二論　園藝の趣味と利益　大隈重信　都會附近の園藝農家　吉田秀臣
理想の良鷄白色ワイアンドツト　尾戶伯爵
菊の最新種と其栽培秘訣　岡村三田管理技長
漁獵三談　鰹と鮪との漁業　岸上理學博士　世界に類例なき我國の深海漁業　田岡泰洋　膃肭臍獸　北原農商務技師
伊豫義農作兵衞　伊庭如水軒　伯爵題字
東京市本石町　博文館

看護婦生徒募集　朝鮮總督府醫院
來ル十一月二十一日新學期ヲ開始ス志願ノ方ハ左記ノ外詳細ヲ當院看護婦課ニ問合セラレタシ
一、入學ノ資格ハ年齡十六歲以上三十歲以下ニシテ身體强健品行方正ナル內鮮人女子トシ尋常小學校又ハ修業年限四年ノ普通學校ヲ卒業シタル者ヨリ國語算術ヲ課シ合格者中ヨリ採用ス
二、願書受理期日ハ十一月十八日迄トス
三、採拔試驗ノ爲メ二十一日午前九時迄ニ出頭ノコト入學許可者ハ直ニ寄宿舍ニ入ラシム

月刊雜誌　經濟之實際　十月號
要目
五千圓以下の財産を活用して富を作る方法　經濟之實際社長　田中
十月の株式界
株式熱狂の幕　部外間記「やの字」
東株と大相塲觀
今後の株式はどうなるか？　仲買委員長南波禮吉氏外數氏の觀察と批評
新聞記者は何と見る　國民、大阪、東京朝日、讀賣等各新聞經濟記者
▲大日本紡績の近況▼猪苗代水電の現狀▼富士水電の前途▲大日本炭礦▲ラサ島燐礦の業況▲東京モスの將來▼日本石油の前途
鐘紡と郵船　如何
株式相塲と日蓮主義
□投機の心得□兜町便り　勃興せる紡績熱　蓮株總評
有望と不有望な新設會社
定價　一部十六錢　半年分九十錢　一年分一圓六十錢（毎月一日發行）
東京市神田區萬世橋　經濟之實際社　振替東京四七九八　電話下谷四五一
▼好評の內報　嘖々　本社內報が如何に好成績を納めてあるかは本誌本號に公開せる『本社內報の成績』を見れば分る、今や株式界最多望の秋なり此際權威ある本社內報を即刻申込まれよ
本誌前號再版賣切れ二版出來

弊堂創立明治二十八年
各時計卸商　貴金屬製作卸所　明治火災保險會社第一代理店
TRADE MARK K
京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五番　振替京城七八二番

新田式耐水調帶　新田式パラタ調帶
朝鮮總代理店　仁川本町四丁目　白神洋行
京城南大門外　白神洋行支店
新田帶革

戰のあと
滿倶軍と鐵道軍

何から何まで白づくめ
御服喪中の李王殿下 好きな球突も遊ばされず

李王殿下の御近狀につき近侍の某氏は語る『李王殿下には御喪中なれば日常御居間深く閉ぢ籠られ只管御謹愼中である事では唯一の御慰みであつた球突も國葬以來ぱッタリ思ひ止まれ仁政殿內の球突場には遂に一度も出られないと云ふ有樣、乃で長官次官から頻りに御運動を御勸め申上げて居るが幸ひにして殿下の御健康には何のお障りもない、德壽宮の御親祭外は一切の祝祭を廢せられ過般殿下の御誕辰日にも何等の御催しがなかつた、朝鮮では食物は高く盛上げるのが習慣であるが、殿下は此習慣をすら破らせられ器物の如きも一切給模樣のない白色のもの斗り用ゐて居られる、御召物も喪服も純白であるから一口に云へば何から何まで白づくめと云ふの御生活と云つても好い、時々の御下問は各新聞雜誌を毎日御覽なされ時に問題になるので時事問題や社會問題等に就て吾々から申上げる迄もなく御存知である、過般齋藤總督の遭難に就ては直ちに御慰問の御使ひを遣はされ更に總督が歸任された時には御懇切な御挨拶があつた、兎に角殿下が國事を御心痛遊ばされる事は非常なもので是を思へば朝鮮の人達は忠實を盡くさねばならぬ。猶妃殿下も御服喪中であるが週に二度は龍山の佐々木夫人を師として御學習を續けて居られます』

今後は一歩も假借せず 鮮商は注意

當局では警察官の報告により十月一日を期し鮮人の商賈が店舖の閉鎖を企て居る事を知り九月卅日夜府內有力實業家四十八名を招集して須藤第一部長より既報の如き知事の訓諭を與へたるが同時に千葉三部長も亦左の要旨の懇諭を與へた 警察は國利民福を妨ぐる凡ての行爲に對しては其內鮮人たるを問はず國家の權力を以て臨み嚴重なる手段に訴へて臨むを躊躇せぬ考へである、彼の店を閉づる行爲の如きは一般の治安を害する行爲で行政執行令の禁ずる處である是れ迄は各自の自覺に待つてゐたが今日以後は之等の行爲者は假借する事なく斷乎として嚴重に處罰を加ふる方針であるから不逞の徒の脅迫又は煽動に誤られて其商店を閉づるやうな愚擧のないやう注意されたい

勞働代表のお鉢は 結局桝本氏へ
學識もあり筋肉勞働の經驗もある理想的の人
小村侯鐵拳の御見舞を受け 一生懸命敵の艦を作つた話

波瀾に波瀾を生んだ我勞働代表者は愈桝本卯平氏と決定したが右に就き氏を知れる某氏は語る 桝本君の半生は實に一篇の

立志傳で ある氏は宮崎縣飫肥の生れで外交界の麒麟兒故小村壽太郞侯と同鄕である氏は青年時代既に社會改良家を以て任じて居たと見え飫肥地方には青年間にいまはしき一弊風があつたが氏は打然として此弊風に反對し遂に其弊風を除去するに至つた、小村侯には幼時の時分から

餘程眷顧 を受けて居つたらしい然し何事にも一見識を持つて居た氏は隨分無遠慮に小村侯の意見に反對したものだ或る夏の事である氏は小村侯と日露戰後の經綸に就て意見を鬪はして居たが氏は例の氣象で飽迄も侯爵の意見に反對したので『桝本貴樣は生意氣だ』と

散々鐵拳 を見舞つたそれでも氏は私の意見は枉げる事は出來ぬと頑張つた相である、氏は帝大工科の出身であるが其學生時代は他の學生の如くノートと首引はやらぬそれで成績は入學から卒業迄最末席であつた夫から某外國教授は桝本君は偉人であると云つたとやら最末席で居るのは

常人には 出來ぬ藝當だと云つたさうな帝大卒業後一時長崎三菱鐵所に入つたが後米國の某造船所に入つて親しく勞働者に伍してハンマーを振り汗を流して働いた當時日露戰爭中で露西亞から米國に注文の軍艦が造船中であつたので桝本氏も敵の軍艦の製造に一生懸命從事した米人の職工は桝本は

敵の軍艦 なあんなに一生懸命に働いて造つて居ると云つて

百餘名 講道館支部の柔道大會 出場選手

講道館支部では愈來る五日午後一時より光化門通り警察部講習所道場に於て支部開設一週間記念柔道大會を擧行し壯絕なる紅白試合を行ふ筈紅軍は日の出校の猛將片岡三段を主將とし鐵銀の堀二段警務課の清水二段、寄、小林、源賀、田中、大島、中村、白濱の七初段以下段外一級十四名、二級以下五十四名の勇將猛卒揃白軍は京中出身で東京講道館で鍛へた倉田三段を主將とし龍山中學の齋藤二段官講習所の武二段、太田、川俣、長野、熊澤、若狹、仁科、等の七初段以下段外一級二級以下六十餘名の勇士が轡を並べてゐるから當日の壯觀思ふべし尚當日は肝付六段、岡村四段、渡邊波東谷兩三段審判の任に當り優勝者には支部制定の優勝メタルを授與すべく本部よりも賞牌を贈る筈

緩衝機 投書歡迎

不潔な道路 神經生

南大門驛前停留所と吉野町停留所間の道路につき京城府當局の注意を乞ふ此道路は馬車、荷車、人車、自動車、自轉車、電車其他あらゆるものの交通甚だしく頻繁なる所なり然るに道幅極めて狹く危險此の上なし通知らずの人の此所には如かざるべし殊に...荷車の...其上兩側の溝の不潔なること亦夥しボーフラの幾百億浮きつ沈みつ京城市のマラリヤを製造しつゝあり若しそれコレラの來襲にてもあらんか總督府は其總本部を茲に置き以て全市に活躍するなるべし願はくは府當局者の御注意を

官吏の服裝 洋服細民

官吏の服裝の事を再議三議致しました至極御同感であります、斯樣の人々は宜しく反省すべしであります、然し判任官と一樣に申しましても一級より十一級まであります、高級者は知りませんが下級者には御言葉の樣なことはしたくとも出來ません。辛じて其の日を過ごすと云ふ有樣で誠に申譯ない次第ですが役所の仕事よりも如何にして食ふて行くかが心配です、物價はあの通ですし、家賃は昂ると云ふのですから、制服が突然廢止せられて之に代る洋服の準備が出來ないのも已むを得ない事情があります、此頃洋服一着作るには少くとも一ヶ月か一ヶ月半の給料が棒に振られねばなりません。鐵道院の樣に八月發表して十月（冬服）から實施すると云ふ風にして貰へばよいですが突然廢止せられては間に合せることは實際已むを得ない事です又みすく從來の服を捨てゝ新調するの勇氣も出ません『和服』『御手當』云々とありましたが本年四月からの上に厚く下に薄い臨時手當は屢々新聞にも出ましたから御承知のことでせう

防疫主催の 愛婦講話會 盛況を極む

愛國婦人會朝鮮本部主催コレラ豫防講話活動寫眞會は既報の如く二日午後一時半より喜樂館に於て開會婦人、女中等約五百餘名參集し大橋主幹開會の挨拶をなしたる後コレラ豫防心得及び衛生防疫軍と惡疫軍の戰爭擊滅等の各種幻燈說明をなし越川衛生主任の豫防談あり最後に各種活動寫眞を觀覽し午後四時散會したり

危險迫る 唯此の上は自衛が肝腎
警務局 板東衛生課長談

虎疫は龍山にまで侵入して來た、當局が未曾有の大防疫陣を布いて居るに拘らず首都の一劃を犯されるに至つたのは眞に遺憾の至りに堪へない、人事を盡して天命を俟つとは此の事であらう

防疫費 としては八十餘萬圓を投じ臨時防疫班は目下十五班の組織成り開城、新安州、兼二浦、沙里院、元山、清道、馬山、扶安、北靑、載寧、江景の各地に分遣在し移動防疫班は仁川、吉州、海州、秦川、忠州、鎭南浦、長湍等の方面に活動し汽車檢疫は各線に亘り義州、開城には

檢疫所 を設置し船舶檢疫海港檢疫あらゆる最善の方法を講じ當局が必死の防疫を盡すも何等終熄の見込ないのは要するに今回の虎疫の執拗猛烈なるかが推測される龍山に虎疫侵入と同時に就ては麻浦に船舶檢疫を開始し檢疫濟の者の外一人も上陸させぬ事にして居る尚又漢江の航行を停止し麻浦上流へは絕對に船舶筏等の遡江を禁止し

漁撈等 も禁止する事にしていやが上にも嚴重に警戒を加へて居るから此上更らに蔓延さする憂ひはなからうと思ふが再々言ふ通り虎疫の防止は官民一致の協力に據る外はないから一般に於ても其の...を(自衛)...

不動產賣却

一、龍山、信川、海州、鳳山、洪川、堤川、公州、論山、求禮、密城、其他各部所在田畓百拾參萬餘坪
右十月三十日入札ニ附ス詳細ハ公家ニ就キ熟知セラレタシ
大正八年十月一日
李鍝公家

音樂溫習會

五日午後一時より櫻井小學校に於て
朝鮮ホテル音樂部有賀清水幹三氏主宰京城洋樂協會にては洋樂趣味普及の爲め來る五日午後一時より公立櫻井小學校講堂に秋季溫習會を開き一般に公開する由なるが曲目は西洋物の外日本固有の段物を作曲せる調和樂を加へ獨奏合奏獨唱連彈合唱等にて東京音樂學校出身者洪永厚、介安東六郎、柴山一郎、梶井太美諸氏も出演す主催者清水氏は調和樂越後獅子外一曲を演奏する由にて入場料は本町二丁目日の出樂器店にて券を受取り隨意に聽講する事を得可しと

看守入所式

西小門外看守教習所にては二日午前十一時より第六期看守教習生入所式を擧行せり三井典獄より教習生三十名に對し夫れ〲辭令を交附せし後一場の訓示を試み十二時式を閉ぢたり

滿洲倶樂部 美事に復讐す 十一アルファー對一
水も漏らさぬ試合振りに鐵道軍も手が出せぬ

東都遠征の榮ある首途に於て鐵軍との對戰にあはれ慘敗の憂目を見た滿洲倶樂部は二日の第二回戰には是が非でも勝たなければならぬのである從つて午後の練習には暗默の裡に必死の意氣込が閃めく二日朝入城した滿倶軍の監督山田潤二（滿鐵庶務課長）も自らボックスに立つて選手を督勵した斯くて午後二時卅分

熱球を飛 ばしつゝ、全滿倶軍のメンバーは

滿倶軍	中澤 2	增田 7	大門 8	岸 1	眞田 5	入見 6	高橋 4	岩崎 9	片瀨 3
鐵道軍	網干 8	猪俣 7	駒井 2	宮永 4	林田 9	松島 1	門田見 3	鍋島 5	千葉 6

となるやプレーは宣せられ鐵道軍の先攻で試合に入つた、滿倶軍は岸をプレートに起たせ岸は滿身の力を込めて戰つた上に油の乘つて居たので第一回から第三回に於て六點から猶眞田をプレートに起たせ岸は遊擊に退いて調子を下げたが水も漏らさぬ今日の滿倶軍の試合振りには鐵道軍も施す術なく第一回に敵のエラーに依る貴重な一點を得たのみで

既に九點 を奪つた滿倶軍の為に

美事復讐 されて仕舞つた、試合を終つたのは午後五時

試合の經過

第一回（滿倶一鐵道零） 恐ろしい沈默が久保田正審のプレーで破れると、鐵道軍網干第一打者としてボックスに起つ、岸の鐵腕から投つて來る球は總てストライク網干、猪俣、駒井等三振して終る、滿倶軍中澤先づ遊擊を衝いて一壘に進み、增田三壘バントで中澤を二壘に送つて死す、大門遊擊ゴロで中澤三壘を得、大門一壘に進む、岸の痛快な左翼フライは犧牲打になつて中澤生還し、先づ一點を得たが、入見二壘に凡打凡死して、大門三壘に殘る

第二回（滿倶四鐵道一） 鐵道軍宮永二壘ゴロで進み、エラーに乘じ三壘を得、更に捕手の暴投に生還し一點を得て同點となつたので鐵道軍は一齊に歡呼したが松島、林田、門田見三振して終る、滿倶軍高橋三壘へバントして死し、高橋遊擊ゴロ、遊擊の失で生き岩崎左翼へ三壘打して高橋生還し、岩崎三壘に迫る、片瀨四球で進んだが岩崎へ盜壘を盜んで刺さる、中澤の猛烈な遊擊ゴロに遊擊がバンスした爲一壘の片瀨生還し、中澤勇躍三壘に迫り、增田の投手越の直球に首尾好く生還す、大門左翼へ三壘打をやつて增田を生還せしめ己は三壘に迫つたが岸の投手直球を投手に得られし爲殘念ながら死し四點を得たるのみにて終る

第三回（滿倶四鐵道零） 鐵道軍鍋島左翼へハウルヒットで死し、千葉左翼へ安打して進み、網干中堅にフライアウト千葉巧みに二壘を盜み、猪俣三振して全く無爲、滿倶軍入見四球、高橋遊擊ゴロで入見を二壘に送つて一壘に生き、岩崎三振、片瀨一壘ゴロを打つて一壘へ、左翼エラーで入見生還し、高橋三壘に迫る、中澤四球で愈々滿壘に

第四回（兩軍無爲） 駒井なる增田の一壘ゴロで岩崎生還し、捕手のエラーで高橋生還す、強打者大門遊擊グランダーで中澤生還し、岸一壘ゴロで凡死し增田大門殘壘

第五回（兩軍無爲） 鐵道中堅にフライアウト、宮永中堅へ飛球死し、松島四球を利す、林田一壘へゴロを打ち打手も走者も壘へ滑り込んでのアウトは奇觀、鐵道軍は此イニングから鍋島をプレートに起たせ、林田に代へた、鍋島の第一球はホークの如何が聞いたが取より、滿倶軍入見三壘へ直球を飛ばしたるも受けられて死し、高橋遊擊に凡打凡死、高橋三壘ゴロを打ちエラーで一壘を得、續いて二壘を得んとして刺され終る

第六回（滿倶一鐵道零） 滿倶軍門田見飛球に死し、鍋島、千葉凡打凡死して終る、滿倶軍岩崎遊擊ゴロに死し片瀨、中澤三振し終る

第七回（兩軍無爲） 滿倶軍は眞田を投手に、岸は遊擊に代つて守る、鐵道軍網干遊擊ゴロで僅く、岸がエラーをやつたので鐵道軍喜ぶ事甚のなく、猪俣投手にフライし眞田のファインプレーで猪俣、網干共に死す、駒井四球、宮永三振して終る滿倶軍增田三振、大門遊擊に凡打して死す、岸四球で出で二壘を盜塁し入見振つたが捕手のエラーで生きて二二壘を得、岸生還眞田三振した爲一點を得たのみで終る

第八回（滿倶一鐵道零） 鐵道軍松島二壘へ絕好の安打を送つたが一壘で刺殺され、林田三振、門田見一壘へ凡打凡死す、滿倶軍高橋岩崎フライアウト、片瀨遊擊ゴロで進み、中澤遊擊に凡打し片瀨二壘に刺され終る

第九回（鐵道軍無爲） 鐵道軍鍋島遊擊へ安打、千葉バントし鍋島を二壘に送つて死し網干遊擊へ安打し、鳥二壘を盜む、猪俣小飛球を投手に得られ、駒井徒に三振し、鐵道軍機會を逸す、滿倶軍中澤先づ四球で進み、大門遊擊に飛球死し、岸四球、入見遊擊ゴロで死し眞田中堅へ大飛球を送る、中堅のエラーで中澤岸續いて生還一點を得、眞田二壘に刺さる 鐵道軍宮永松島林田三振して全く無爲、遂に十二對一Aと云ふ大スコアーにて鐵道軍の敗に歸す時に五時十分

因に滿倶軍は三日夜發山し、三日午後一時より鎭山大正公園で全鎭山軍と一會戰試みる筈

實彈戰鬪射擊見物（上）
一人前 立派な砲兵に
廿八日 於平壤 小龍

『自分は今でこそ騎兵で納まつてるますが、廿歲前後には砲兵を志願したものです』と佐藤參謀は自分の前に携帶糧を開きながら語つた。『如何にも男性的で壯烈ぢやありませんか、子供があれば砲兵の將校にするところです』と私も同意を表した。陣中進入の勇ましさ、放列布置の雄々しさ、射擊指揮の痛快さ、若し夫れ我砲彈に敵が潰亂する狀況を想到すれば血湧き肉躍るの感がするではないか。射擊は砲兵唯一の戰鬪法である。之に熟達するにあらざれば其の性能を遺憾なく發揮する事が出來ぬ。是が爲め砲兵は專ら戰鬪を有效に有行し得べく、射擊技能の訓練に憂身を窶してゐるのだ。未だ嘗て大砲を見た事もない新兵さんも入營してからと云ふものはやれ角の限位だ、やれ彈道だのと射擊に關する定說を敎へられ、是を熟ると瞄砲敎練となり、其の步と相俟つて先づ小數の砲車を以て中隊敎練を行ひ、更に進むと射擊準備、射擊の操縱等を部分的に敎へられ、續いて聯隊射擊を行ひ實射の光景を自覺せしめられる。火砲の威力は熟練なる射擊の操作は就中精確にして迅速なる照準に依り始めて最大なる效果を得しむるを得るのであるから照準敎育をみッしり叩き込まれる。斯くて射擊演習となり實彈射擊となるので『戰鬪射擊』は射擊敎育中最も必要なるものにして砲兵の戰鬪能力の如何は一に其の成績に依り判知し得るものなりと野戰砲兵射擊敎範は示してゐる。されば平康に於る戰鬪射擊に將校以下兵卒が其性能を遺憾なく發揮すべく意氣天を衝いてゐるのも尤もである。この戰鬪射擊さへ終れば去年十二月入營した新兵さんも一人前の立派な砲兵になるのだ。飽く迄も實戰に臨んだ心得で演習してこそ實戰に臨んで始めて效果があらうのである。謹嚴沈着な練磨し且つ不撓な此の機會にある。二週間の演習は並大抵の事ではない、演習中だからと云つて夜間戰鬪を行はぬ譯にも行かない、雨が降つても風が吹いても……而も其の旺盛なる士氣を見よ、將校以下兵卒の頰、漲る潑剌たる生氣を見よ。眞面目は眞實である眞實は人を感動せしめる。私は佐藤參謀と水筒の豫防液を飯盒の蓋に注いで、相共に砲兵の將校以下の健康と光榮と將來とを祝福した。幾ぎか祝福してゐる中に豫防液は空ッ腹のどん底にまで浸み通る私は陶然と醉つた。それにしても一緖に行かうと堅く約束しながら一汽車遲れた原田軍副官の此の常にゐないのが淋しい、遲れた罰盃の代りに、よし、此の次の汽車で來たら旅館で茶目ッてやらうかナ。美しく咲き織く野菊く女郞花や紫苑を、むごたらしく馬蹄と轍とで蹂躪して行く砲車のあとから、佐藤參謀と私とは澄み切つた秋晴の日を浴しながら旅にと歩みを急がせた。（終）

朝鮮產業要覽
朝鮮で初めての各道別產業一班 袖珍美本一冊定價六十五錢郵稅二錢 京城東部濟昌堂 振替京城一四四

龍糸引退會 豐澤龍糸
引退淨瑠璃會は三日より三日間毎日午後六時より壽館に於て催しの筈なるが初日の語り物次の如し
岸姬（三摘）目吉丸、唐扇、勘兵衛（一勞）松王郎（盛山）新地茶屋（團助）八陣（陸部）猪屋 音羽家（八）阿漕（魚水）日高川（玉糸三味線奈良梅背登、祇太夫、龍糸

演藝
▲浪花館 京山愛子一行の浪花節で一日から蓋を開けたが座長愛子は去年正月以來久々の入城と云ひ歐米巡業新歸朝者といふので素晴らしく人氣を呼び房節以來仲々の景氣、殊に愛子の女に珍れな聲量の豐富さと人を魅する花の樣な美貌とは却々の評判である、一行中には德川巴城、京山雲盛等の達者が居るので一層面白く聽かれる三日夜の主なる演題は左の通である ▲大功記（京山雷盤）左島五郎（三河家小染）水戶黄門記（德川巴城）山內一豐の妻（京山雲盛）前講義士銘々傳 後言（京山愛子）

京城に自動車講習所開設
▲十月十五日開始 ▲百十圓前納すれば ▲何人も入學が出來る
職業 職業の選擇は人生の最大事である今世界の職業統計によれば自動車業は多く且待遇のよいものゝ一つである自動車業に從事する技師販賣員業自動車業は何れも勇敢なる人物を要し最も收入多き職業の一つであつて此際之に從事せんとする者は須く本講習所に入學すべし
授業開始日 は第一回を十月十五日と定め以後毎月十五日に開始する
學資金 は入學より卒業迄に二ヶ月間の練習費用等を含み全部にて百十圓を前納すへし
修業期間 は二ヶ月で卒業卒業後は運轉手になるも技師になるも自由である
本校の校外生 を卒業し居らるゝ方は自動車に多少の知識を有するものは豫科に入學して一ヶ月で卒業することを得
規則書 は申込次第何人にも無料で進呈するが今は開始日に餘日がないから入學希望者は學資金百十圓を十五日迄に持參又は郵送すれば第一回に入學する事が出來る急げ一日早ければ一日の利益がある
東京自動車學校 京城講習所 京城府黃金町三丁目角 振替口座京城七一八八

織元から
多數御申込の際は直接會長勝織物 ...
會長勝織物

はら にカタル マリが
出長又は子宮病子宮癌で御困難の方は御用ひ下さい必ず效能あり直に良藥詳報す
播州明石裁判所前西 滿泉堂

特許セメント瓦
京城府明治町一丁目五四番地 特許セメント瓦製造株式會社 電話長九三
御一報次第說明付カタロク進呈

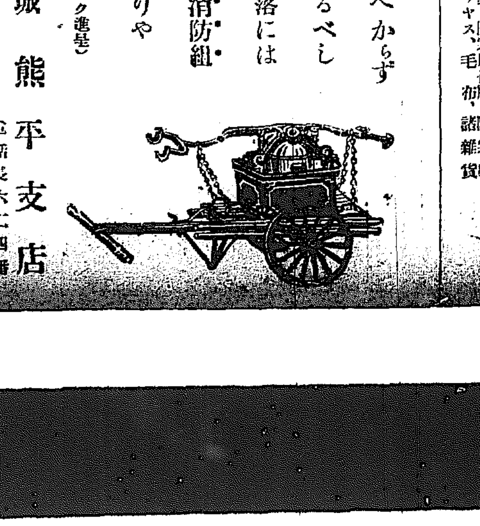
つわり湯
つわりにはつわり湯 服用すると眠氣がさめます 此つわり湯は淺田宗伯先生の御處方で村井玄齋先生が實驗して其偉效に驚き入り何等の副作用がなく安心して服用の出來るのは斯湯のみ
定價 各五十錢・一週廿錢・二週五十錢・五週... 送料十二錢・海外四十五錢（各藥店にあり）
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目（商品陳列館前）
院長 醫學士 村上龍

和洋ストーフ 附屬品一式 煙突製作 ストーフ修理

京城本町二丁目三十五番地 岩見伊勢松商店 電話二二三番

軍隊拂下被服類 村上商店
京城府北米倉町 電話一壹二番
營業品目 紬茶ラシャ服外套各種作業服、刺繡用具、防寒用被服、防寒靴、メリヤス、毛布、諸雜貨

火災恐るべからず 不用意恐るべし
諸君の部落には完全なる消防組の設備ありや
（ポンプカタロク進呈）

京城 熊平支店 電話長三六二 振替京城一二五四

資本金壹千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候
株式會社 朝鮮殖產銀行 京城南大門通一丁目
電話長六〇二・四〇二 振替貯金口座
取締役 三島太郞
支店 開城、淸州、忠州、公州、江景、全州、裡里、井邑、金堤、群山、光州、木浦、南原、晉州、統營、釜山、馬山、大邱、浦項、金泉、尙州、安東、海州、沙里院、平壤、鎭南浦、安州、義州、新義州、元山、咸興、北靑、城津、鏡城、春川、鐵原、水原
右の外內地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

特製クームヒン
木材防腐防虫劑 特許クームヒン 專賣特許果樹園藝用驅蟲劑 シーエス液 消毒防臭防虫劑 特製クームヒン
製造販賣 山田禎輔 京城旭町一丁目 電話一〇七八番 振替京城三九六番

みだれ咲き

第百六十三回　島山碧波作　森田久畫

旅舎清水舘の見世先きに、一日千秋の思ひで操子の戻りを待つて居た初江夫人は、自己の非を悔い改めたお蓮が、必ず今夜の内に操子を盗み出して來るとは云つたもの、先方にも充分の警戒があらうから、不幸にして失敗に終つた時は、山中二階武門家の名譽なぞと云つて居る其筋の力を借て操子を救ひ出さうかとも思ふのであつたが、向島の鷹屋花の家へ我が娘を旨く連れ込んだ次郎吉の報告は聽いたが、其の化込みの目的が達せられるかどうかを案じ、千々に亂れる胸の苦を抱へて吉報を待つて居たのだ。

『あら操子がッ』

一日千秋する親心に熱誠を捧げ侠婦お蓮の成功と操子の無事を祈つて居た初江は、見世先に停まつた自動車の中に我が娘の姿を發見すると、我れを忘れて土間へ飛び降りたのであつた。

『あらお母ア樣……』

自動車から轉けるやうに降り立つた操子は、懐しき母の姿を認めると、無我夢中で其の手許へ縋り付いた。

『おうよく無事で居ましたね』

恥も、外聞も、場所柄も忘れた親子は、互に骨も碎けよと抱き合つた嬉し涙に咽んだ。

『御無理は無い……』

運轉手臺から降りて來た次郎吉老人は、此の光景を眺めてホロリとした、少しも飾りの無い些かも僞りの無い親子の至情其の純美の光景を目の前に眺めた次郎吉は。

『お花、よくお嬢樣を盗んで來て呉れたッ』

彼れは此の光景を親しく眺めて、自分達親子の犯して居る罪の幾分かを償ふことが出來たのを喜んだ。

『奥樣、見世先きでは餘り何んですからお座敷へ行らつしやいまし……』

操子が戻つたのを知つて奥から出て來た伊代本のお伊代は、操子が無事に戻つたので何も彼も忘れて踊るやうな初江夫人に一聲を掛けた。

『あらあの方は……』

見知らぬ婦人が母に馴れ〳〵しく言葉を掛けたのを知り、操子は怪訝の顔をして初江夫人に訊した。

『あら私としたことが、どうしたのだらう』

我れに返つて初江夫人は、旅舎の見世先で、斯んなことをしたのに氣が付くと、一同の手前があるから些か顔を赤くした。

『さアお蓮さんも奥にお通りなさい、本當にお骨折でしたわね』

流石は世の中の荒い浪風に揉まれた後、今では朝鮮京城へ行つて成功して居るお伊代、お蓮が斯うして操子を盗み出して來た機敏たる苦心を察し、優しい言葉を掛けて其の勞を犒ふのであつた。

『どう致しまして』

輕く頭を下げたお蓮は、些かたりとも自分の功を誇らずにニッコリ笑つた。

『お母樣、あの御婦人は？』

操子はまたしてもお伊代のことを訊した。

『あのお方は龍雄を救つて下さつた山中家の大恩人です』

と、云つた初江は操子の手を執つて。

『兎に角委しい事は奥へ行つて話しませう、遲くなるのに宿屋さんにもお氣の毒だから』

『はい……』

一同がゾロ〳〵と奥へ通つた時、貸自動車屋から戻つて來た牧野が。

『唯今戻りました』と、云つて次郎吉の傍へ坐つた、すると初對面の挨拶を濟ませた伊代本の女將お伊代が。

『牧野さん、貴郎からお嬢樣に委しく申し上げて下さい』

と、促し立てた後、お蓮と次郎吉を自分の傍へ坐らせた。

京日紙上俳句會　＝出句發表＝

▲蜻蛉▼

一　草晴れの野廣々と飛ぶ蜻蛉哉
二　濯ぐ物に旭影透くや飛ぶ蜻蛉
三　夕日今庭石にある蜻蛉かな
四　蜻蛉や軒重なりて田舎町
五　蜻蛉や飛ばされる草の中
六　塀に立てし張板乾く蜻蛉かな
七　海近み白砂まばゆき蜻蛉飛ぶ
八　赤蜻蛉炎けつゞく日の夕切石山
九　蜻蛉や五風十雨の日和空
一〇　夕蜻蛉壁に塗り込く瓜の垣
一一　石弄ぶ渡船場の岸に飛ぶ蜻蛉
一二　背に夕日負ひて倒るゝ蜻蛉つり
一三　水ほれて小さき漣波な蜻蛉哉
一四　蜻蛉や水ずれ〳〵に草の風
一五　市果ての埃る陽に蜻蛉群れ飛べり
一六　日脚辷り池の明るき飛ぶ蜻蛉
一七　舟繋ぐ杭に蜻蛉や江の夕
一八　芦戦ぐ上を群飛びぬ赤蜻蛉
一九　蜻蛉々々砂濱の夕日踏みけり
二〇　細く働く親子らしい蜻蛉に日影
二一　蜻蛉の羽に舂く落暉かな
二二　遠山の晴れや蜻蛉棹を去らず
二三　蓬草に蜻蛉つき來て搖らぎ過ぐ
二四　蜻蛉の群れ飛ぶ原の夕日かな
二五　竿頭に蜻蛉のとまる處なり
二六　蜻蛉一ツ太湖の光に輪の如し
二七　黍の穗に尻立蜻蛉吹かれけり
二八　油屋の柱にとまる蜻蛉かな

京城の名物（南大門通り）カフエータイガーの　洋食とすき燒

二九　塔の影婆娑たる庭裡の蜻蛉哉
三〇　馬洗ふ男忙しき蜻蛉かな
三一　陽の鈍き庭裡の枯枝や赤蜻蛉
三二　雌蕊の花孕む風に飛ぶ蜻蛉
三三　棒杭にすがる蜻蛉や水澄みて
三四　蓮池に蜻蛉釣る兒が夕陽影曳く
三五　高く低く風に翻る蜻蛉かな
三六　切株に停まる蜻蛉や夕榮はす
三七　露宿す稻の葉裏に蜻蛉かな
三八　行く陰に目玉傾けて居る蜻蛉
三九　清淨の墓地に人あらず蜻蛉とぶ
四〇　記念碑を刻む小屋あり蜻蛉飛ぶ
四一　やんま飛ぶ照り八尋の田面哉
四二　庭球コートを劃して飛ぶ夕蜻蛉
四三　荷積舟か著き波止場の蜻蛉の夕陽
四四　蜻蛉百匹霊いつぱいの夕陽哉
四五　夕凪の底を流るゝ蜻蛉かな
四六　そよぐ芦を杭に居直る蜻蛉哉
四七　夕照れる地殼は映え蜻蛉かな
四八　荷馬堅る洪水の堤蜻蛉飛ぶ
四九　夕陽射す丘に蜻蛉の影長し
五〇　舟繋ぐ川の瀨りて飛ぶ蜻蛉
五一　蜻蛉や空高うして秋日和
五二　蜻蛉や日に〳〵實る稻の出來
五三　アリナレや二國飛び交ふ群蜻蛉
五四　大空やキの字餅の群れ蜻蛉
五五　蜻蛉や路を濕らしよべの雨
五六　繫がれて留守する犬やとぶ蜻蛉
五七　見蟲を採取する野や蜻蛉飛ぶ
五八　開闢の洞窟前や蜻蛉飛ぶ
五九　夕陽高く小鳥に舞ふや赤蜻蛉
六〇　夕潮に煌らり〳〵と飛ぶ蜻蛉
六一　野の途の一筋長し蜻蛉飛ぶ
六二　温泉の煙や屋を斜に赤蜻蛉
六三　蜻蛉や人罵つてちよろと飛ぶ
六四　蜻蛉や張板に映る紅絹のいろ
六五　やんま高し海に入る陽の照り返す
六六　落し物探良れば蜻蛉群れ飛べり
六七　蜻蛉の眼を柔かに夕日かな
六八　すぐれたる草に蜻蛉の搖れ作ら
六九　蜻蛉飛ぶ石割納屋や夕炊き
七〇　蜻蛉群れ高輪な島の空澄めり
七一　追ふ人もなくて蜻蛉や寺の庭
七二　干物に散らし模樣や赤とんぼ

大學キヤラメル　ミルクキヤラメル　夏期に安全優美高尚滋養に富む

七三　秋の空妻かくせし蜻蛉かな
七四　男の子や蜻蛉忘れし秋の空
七五　赤蜻蛉遊山は皆裸なり
七六　空揚車の餘や蜻蛉のつうい〳〵
七七　張板の角に夕日のとんぼかな
七八　牧見取る國の幅とぶ蜻蛉かな
七九　蜻蛉も飛ぶ其中の尻切れ蜻蛉
八〇　兒の手逃れて蜻蛉スイと流れたり
八一　蜻蛉網持つ兒等の野は夕燒
八二　墓詣で手向の花に蜻蛉舞ふ
八三　豆二つ點ぜて驅す蜻蛉釣
八四　世の無常を思ひ浮ぶを赤蜻蛉
八五　蜻蛉釣つられて吾身忘れけり
八六　塀に積む明太の荷や群蜻蛉
八七　夕凪の沼を高飛ぶ蜻蛉かな
八八　橋架の片落て只蜻蛉かな
八九　赤蜻蛉砂原つゞく町新なり
九〇　行軍の小憩に蜻蛉よくとまる
九一　後になり前になり蜻蛉導く田舍路
九二　竹がきに何を思案の蜻蛉かな
九三　ぬすみ足子供もりする蜻蛉哉
九四　蜻蛉や空高々と夕晴れて
九五　洪水跡の秋日和や赤蜻蛉
九六　浮草の花に喰ひ入る蜻蛉かな
九七　小走りに湯の案内や飛蜻蛉
九八　蜻蛉さや〳〵流れやまよ穀を干す
九九　蜻蛉背き蟲を喰ひ居り桑畑
一〇〇　總勢は六つで御座る蜻蛉釣
一〇一　教會の鐘より高う蜻蛉かな
一〇二　破堂の佛見ばに蜻蛉かな
一〇三　馬避けて蜻蛉飛び立つ競馬場
一〇四　數地厳う離入る村や蜻蛉飛ぶ
一〇五　紙一重外には蜻蛉内に猫
一〇六　五大洲うのみにかける鬼蜻蛉
一〇七　蜻蛉や北嵯峨の邊な女馬士
一〇八　塔影の大きく暮るゝ蜻蛉かな
一〇九　蜻蛉飛び秋蜻蛉飛ぶや萩の水
一一〇　蜻蛉さへ何な淋しう獨り旅ぶ
一一一　懸崖の兒に高々とある蜻蛉哉
一一二　蜻蛉や煙草ふかせて芦の釣
一一三　蜻蛉や葬式寂然とある伽藍
一一四　容顔焼く油や紫色を飛ぶ蜻蛉
一一五　蜻蛉を追うて蹈打つ大工かな
一一六　夕日さす公園内の蜻蛉かな
一一七　一陣の風に黍飛ぶ蜻蛉かな
一一八　追ふ鶏に塀を高飛ぶ蜻蛉かな
一一九　ひらひよる指や蜻蛉に一二寸
一二〇　紺青の空に小さき蜻蛉かな
一二一　雪洞の臺に眠れる蜻蛉かな
一二二　蜻蛉一つ舞ひ込む夜や秋寒き
一二三　蜻蛉飛ぶ十萬石の城下かな
一二四　杉の木の殊更高し赤蜻蛉
一二五　大空の青さ蜻蛉すきま夕陽さす
一二六　旅人の笠に蜻蛉の空高し
一二七　因年の秋夕やけな飛ぶ蜻蛉
一二八　病舍假設の鎚音よ蜻蛉夕鳴れる
一二九　蟻塚に円よこたふ牛蜻蛉
一三〇　蜓の畠秋火幼し往くやんま
一三一　蜻蛉飛んで長閑の村を午の鶏
一三二　蜻蛉飛んで隣の女衣を張る
一三三　豆殼に風あたる軒や飛ぶ蜻蛉
一三四　蜻蛉飛び静かに庭の樹々
一三五　空晴れて蜻蛉の踊り静かなり
一三六　大空に模樣染めたり蜻蛉かな
一三七　蜻蛉越す背田や松に日の懸る
一三八　飛行機をなわれ合點の赤蜻蛉
一三九　朝日いる庭に蜻蛉の群重く
一四〇　虹一條コスモスに群る蜻蛉哉
一四一　川風に吹かれて高き蜻蛉かな
一四二　夕燒の空を亂るゝ蜻蛉かな
一四三　耕人の汗ふく畦や赤蜻蛉
一四四　赤蜻蛉杭をはなれず霧深む
一四五　さぞ蜻蛉吾も翅のほしきかな
一四六　夕榮る陽や碩碑に蜻蛉いつまでも
一四七　斷ける渡舟場の丘の蜻蛉かな
一四八　五輪塔より仁王に渉る蜻蛉哉

我等の俳句

○　芹郎

ヨーラがはやる弟妹は夫れ〳〵抽斗にしまつた

コレラ流行る日中の街樹風の絶わざる二階

急な坂道の建物の夜ぞコレラ流行るなり

○　披柳

通夜明けの鷄頭に向つた顔だ

ダリア一輪僧の前のもろい命であつた

○　鳥堂

コレラのせて來た船の黄色の煙突

隣のおばさんコレラ患者が運ばれて並木へだつる

コレラの國境豫防線の蘆の穗つき

山陰紀行　＝十規忌第五夜＝

廣田修（京城）　―歌集『反映』より―

姫路より雨ややましぬ夜ふかむ旅の裳裾はひややかなりけり　―播但線沿道―

但馬路の畑はくろさび杷柳干す人に薄々照る秋の陽よ　―和田山驛にて―

雨後の日に黄色がかゞやく但馬なる驛の舗石ふさ踏みに出づ　―玄武洞―

名た阿びつよげはれつ入る洞穴ナこの闇黒に水の音をきけり

底ふかくこもらひびく水の音洞暗くして身の冷をおぼゆ　―城崎まで徒歩―

但馬川水底ふかくいや澄めり我がゆくなべは雨しとぞなる　―城崎温泉―

一の湯や二の湯名だたるきさは來れど時少なければたゞに見て過ぐ

霧ひくく降りて動かぬ[illegible]

交はす聲のこゑはろばろし湯ぎらふ山ならがみてこの温泉前

[illegible]

ゆきずりのふさしさも花ふ白粉の香湯女はわうかに姿ぶけぬ　―日本海を眺む―

いやはるか水派しろがねにかゞやきて北の海面に魚飛べる見ゆ

島影に陽もおちたれば彼方なる隠岐しろく現はれにけり

停車場の柵のひまより見ゆる海遠ざかりて夕暮からし

夜見ヶ濱白く暮るゝ中にして夕の灯ならびまたたく　―鳥取にて―

城址の櫓もみちし路ふかくこの灯に蟋蟀さゐなり

松の葉のひまにまたゝく町の灯を眺めてくだる箕竹の丘　―夜の米子―

紅の緒の縷少女等むれてゆく米子の町の夜の灯のいろ　―出雲大社―

おろがみてまなこ閉づれば底知れぬいにしへ思ほゆ尊さにして

宮前の路に假殿を塩あり並木のかげのながく引く午後　―松江―

宍道湖は眠にひろ〳〵と陽を湛へ靜に靜かに澄きてありけり　―根雨の旅舍―

この宿に少女は住まず土を蹴る馬の音きこゆ夜はやや深く　―大山―

紅葉せるはぜの叢林にてりかへす山の陽あかく牛の群れ鳴く

放ち牛そこにも一つ又ひとつやまず鳴きたり鷄の瘤す　―美作勝山にて―

隧道を破る音きこゆ川上の橋の袂の灯のあかき宿

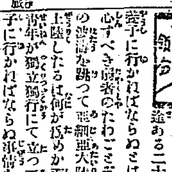
新刊紹介

▲兒童考查法の新研究（越川彌榮著）小學教育の任に在る者の爲に著はしたるもの村井學者にして所論精微に入り細を穿ち其の穩健なる立論は模りて斯界に裨益する所あらん（二圓、東京牛込區白銀町二〇育英書院）

▲親鸞聖人言行錄（武瀬寂浦著）親鸞聖人の傳にて親鸞教數論の歸妄を初め聖人の一生を通じたる救世的歷史を解し易き樣に記述したるもの（四十錢、東京牛込神樂町一の一東亞堂）

▲大日本私立衛生會雜誌（四三七）火災防備と避難方法（三宅博士）外に衛生に關する有益なる記事多し（廿錢、東京麴町區大手町二丁目共會）

讀者の領分



▲孤兒生君に告ぐ　[illegible]

[illegible]

將棋新手合（其六）

満呂木六段評

平手番△釜山　園田　四段（二段）
先　▲京城　廣戸庄吉（初段）
（於京城若草町九七滿呂木將棋所）

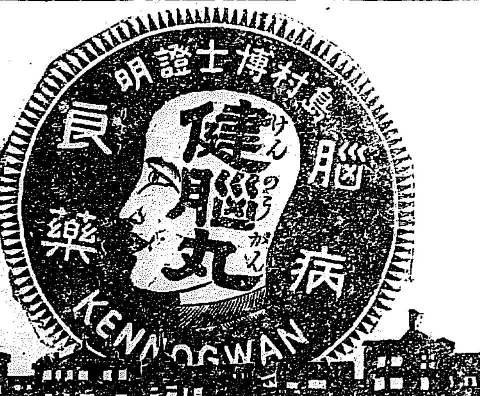
圖は前號指了迄の局面　▲廣戸氏　持駒　角桂步

（前承）△四四龍　▲五八金　△八五角　▲七六桂（ヨ）△五五玉　▲六五角　△五四銀　▲同角　△同步　▲六四銀　△四五龍玉　▲七七桂　△四一角　▲六五桂　△五五桂　▲五六銀打　△六七桂ナル　▲同玉　△四三龍玉　▲七九飛　△六三步　▲七三銀ナル　△同桂（タ）▲七四桂（以下次號）

満呂木六段講評

▲（ヨ）七六桂は惡し七六步と銜けて指す處なり

▲（タ）同桂と取るより同金同桂同金にて安全なり



萬人が異口同音に賞讃する理想的腦神經病最適藥は島村醫學博士有效證明の 健腦丸 である

健腦丸は
■腦充血■腦膜炎■腦貧血
■神經痛■中風■卒中■頭痛
■眩暈■便秘■健忘■逆上
■不眠■耳鳴■癲癇等
一切の腦神經病に偉効あり

其特長
常に少量宛服用せば逆上を引下げ便通をよくし、恐る可き腦充血や中風卒中を未發に豫防し頭腦を明晰にし記憶力を增進す。

藥價
半週分 四十錢
一週分 七十錢
二週分 壹圓卅錢
三週分 壹圓八十錢
五週分 二圓八十錢
十週分 五圓
全國各藥店にあり

本舗　大阪 東京　丹平商會藥房

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS　100 tablets ¥ .50　500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vatality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

實驗的研究に依て効力を確認せられたる
ミツワ人參錠

定價　百錠入 金五十錢　五百錠入 金二圓　内地以外は輸送費を加ふ

主効　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、貧血、老衰、發育不良、精力減退

ミツワ化學研究所に於ては、豐富なる學識と精密なる檢索とに依り、滋藥人參を系統的に研究し、强壯等の諸作用を呈することを闡明せり。ミツワ人參錠は該研究を基礎とし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及び是等の疾患に基因する諸症候[illegible]に對して偉効を現はし[illegible]體力を增進し、又精力減退即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を恢復し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

ミツワ人參錠適應諸症候

[illegible]

良方堂實費調劑

○諸病院各大醫の御處方調劑致します○
○藥價は實費以て御求めに應じます○
○藥品共他家庭衛生用品何でも有ます○

京城本町四丁目櫻井町角電話三一一二七番
毎月第一日曜休業

日本[illegible]藥局

電話八五五番　本町二丁目釘本前　吉田屋

一本印　ほまれ味噌

日本醬油株式會社京城出張所　電話長二四五番

柳下駄各種　並に薄板製造

從來合名の處今回一手に引受け業務擴張し販賣に從事致候間多少に拘はらず御用命の程奉願候
朝鮮新義州眞砂町三丁目　福永商會

優良化粧用　アカシヤ石鹸　ACACIA SOAP
大連　萬玉洋行

大阪商船出帆

木浦大阪行　倉澱川丸　九月廿九日正午
釜山大阪行　✕安東丸　九月三十日正午
鎮南浦大阪行　△雄崎丸　九月廿九日正午
濟州行　宮島丸　九月三十日後九時
山門司、宇品、神戸、大阪行　宮島丸　十月六日後十二時
上海、基隆、打狗行　湖北丸　十月三日前六時　基隆丸　九月
歐洲行一年四回　北米行毎月　南米行一年四回　濠洲行毎月一回　南洋行
御注意　[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店　[illegible]

フユーメ御前會議

伊國政府非難

獨逸の將來

雜穀先物取引